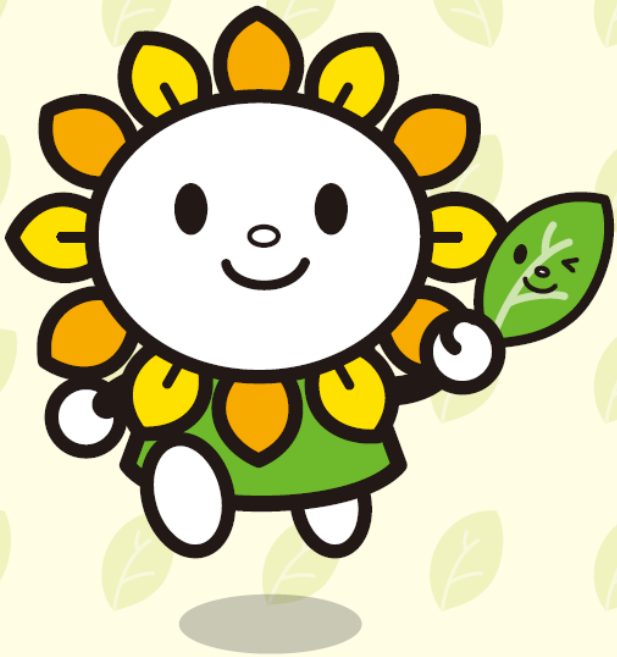
尾張旭市第五次総合計画　～総括報告書（目標達成状況）～

平成26年から令和5年度（2014年度から2023年度）

みんなで支えあう
緑と元気あふれる
住みよいまち
尾張旭



令和６年７月

尾張旭市

目　次

１　尾張旭市第五次総合計画の総括について……１

⑴　尾張旭市第五次総合計画総括報告書とは……１

⑵　総合計画と行政評価……１

⑶　行政評価による総合計画の進行管理……２

２　目標達成状況……３

⑴　施策目標達成状況（全体・政策別）……３

⑵　総合計画の施策体系……５

⑶　施策ごとの目標達成状況……６

政策１　みんなで支えあう健康のまちづくり……９

政策２　豊かな心と知性を育むまちづくり……２２

政策３　快適な生活を支えるまちづくり……３５

政策４　安全で安心なまちづくり……４５

政策５　環境と調和したまちづくり……５５

政策６　活力あふれるまちづくり……６４

政策７　人と人とがふれあうまちづくり……７２

政策８　分野横断的なまちづくりと市政運営……７８

３　計画人口実現のチャレンジ……８４

⑴　５つのチャレンジの取組状況のまとめ……８４

⑵　人口の推移……８５

⑶　年齢区分による人口構成……８５

⑷　人口動態の推移……８６

1　尾張旭市第五次総合計画の総括について

⑴　尾張旭市第五次総合計画総括報告書とは

「尾張旭市第五次総合計画」は、市がまちづくりを進めていく上で最上位に位置づけられる計画であり、１０年間の尾張旭市のめざす姿を定めた、まちづくりの指針となるものでした。

第五次総合計画は、第四次総合計画を継承する目標管理型の計画として策定しており、第四次総合計画で進行管理を行ってきた内容や、第五次総合計画の策定過程における分析、計画策定の背景などから浮かび上がってきた８つの課題に対して、分野別にめざす姿（目標）を設定し、その成果（数値）を把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価してきました。

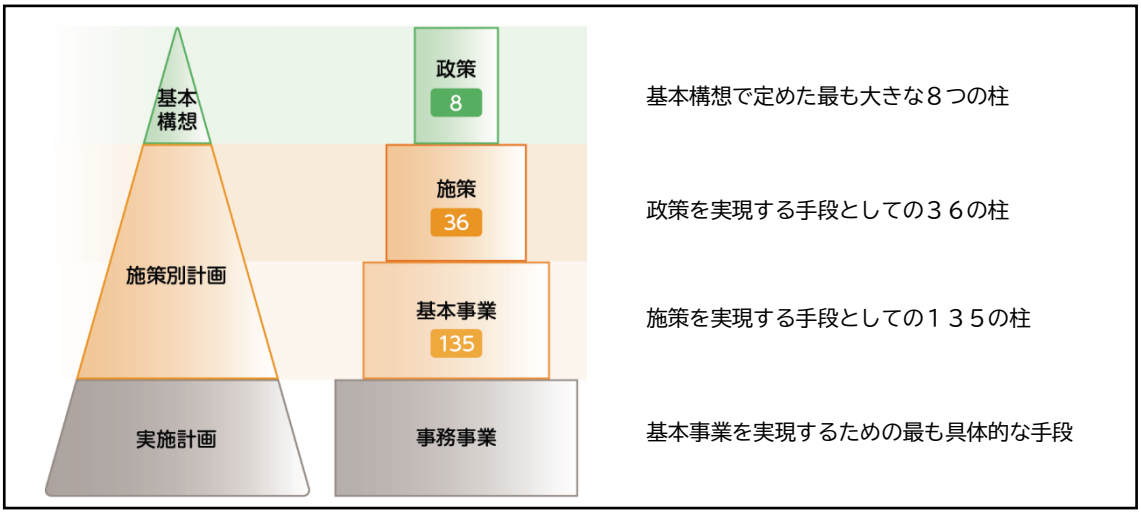
この「尾張旭市第五次総合計画総括報告書」は、平成２５年度から令和５年度までの１０年間の取組の結果（施策目標の達成状況）をまとめたものです。

⑵　総合計画と行政評価

尾張旭市第五次総合計画は、本市のめざす将来の都市像を「みんなで支えあう緑と元気あふれる住みよいまち尾張旭」と定め、この将来の都市像を実現するため、「みんなで支え合う健康のまちづくり」、「豊かな心と知性を育むまちづくり」といった８つの柱（政策）を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を定めました。

８つの柱（政策）の下には、３６の「施策」と１３５の「基本事業」が位置付けられ、さらに「基本事業」を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。（図①参照）

図①　総合計画の体系



また、取組を進めていくなかで、財源や人、施設といった限られた行政資源を有効に活用するとともに、市民にわかりやすい行財政運営を行うための一つの方策として、「行政評価」の考え方を導入し、この考え方により、「施策」「基本事業」などの目標の達成度を数値で表し、市民起点、成果重視といった観点から市政を推進してきました。

⑶　行政評価による総合計画の進行管理

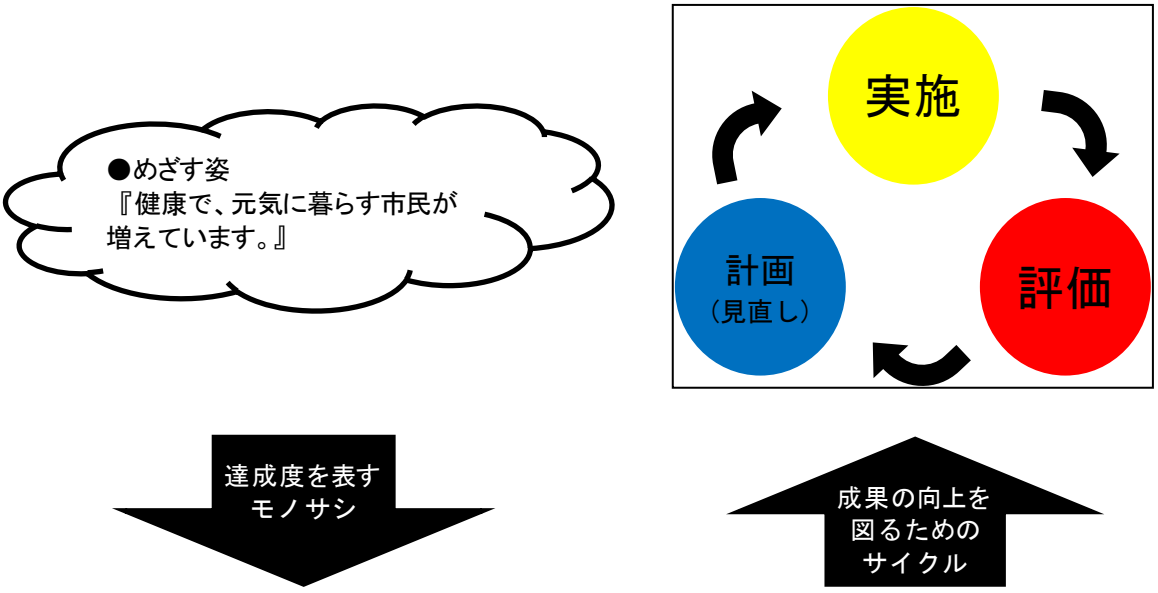
　行政評価の考え方を取り入れた尾張旭市第五次総合計画では、市民にわかりやすい評価を行うため、「施策」と「基本事業」にそれぞれ「めざす姿」を設定し、その「めざす姿」の達成度を数値で表すモノサシとして「成果指標」を設定し、総合計画の期間に達成すべき目標値を定めました。

　総合計画の進行管理を行う上で、毎年施策・基本事業の成果を評価し、目標に向かって遅れが出ている項目については、現状を把握し、なぜ数値が伸びていないのかというような原因を分析し、見直しを検討、実施することで目標の達成を目指してきました。

　このように、計画→実施→評価→計画（見直し）のサイクルを活用し、目標年次に向けた総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ってきました。

（図②参照）

図②　総合計画の進行管理



●成果指標

健康だと思う市民の割合（市民アンケート取得）

２　目標達成状況

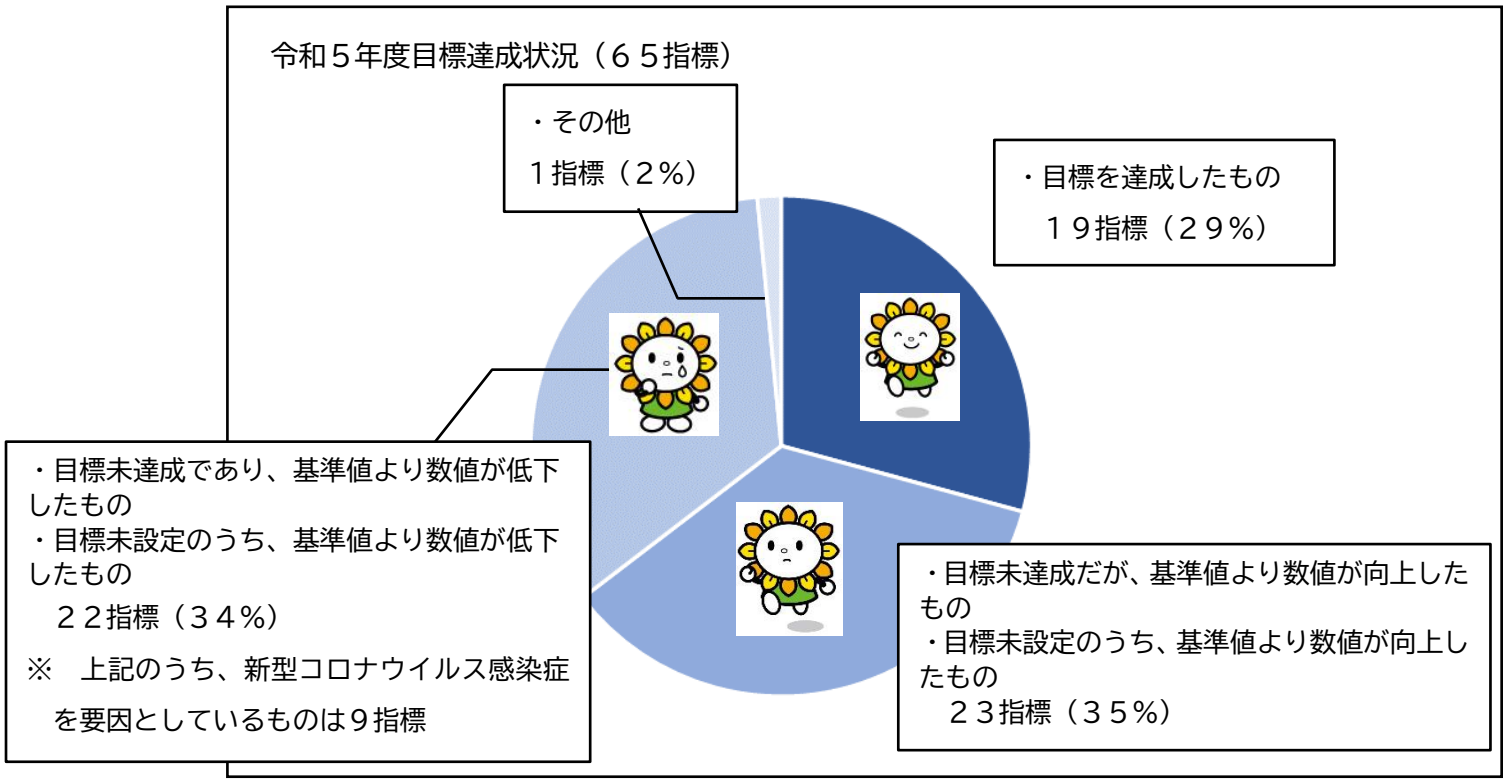
⑴　施策目標達成状況（全体・政策別）

図③は、３６ある「施策」の６５の成果指標の目標達成状況を集計し、円グラフで表したものです。

６５の成果指標のうち、４２の指標（全体の約６４％）で成果が向上し、１９の成果指標で目標を達成しました。

一方、２２の成果指標（全体の３４％）で基準値を下回っており、成果を向上させることができませんでした。なお、成果が向上しなかった２２指標のうち、９指標が新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。

図③　施策目標達成状況のまとめ（全体）



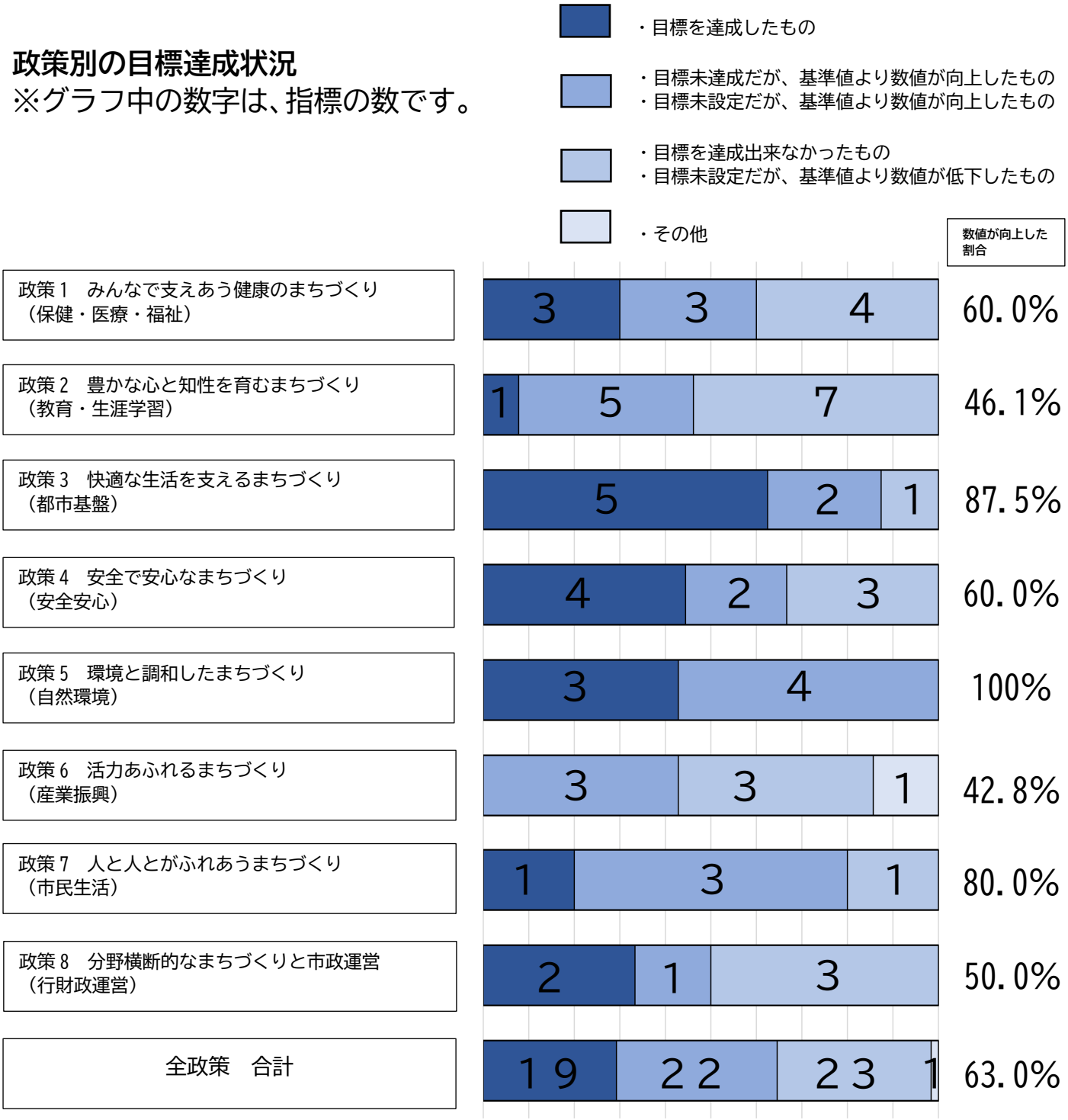
８つの柱（政策）ごとの目標達成状況は、次のページに掲載しております。

図④は、政策（８つの柱）別に「施策」の成果指標の目標達成状況を集計し、帯グラフにしたもので、政策ごとの進捗状況や傾向を見ることができます。

政策３（都市基盤）、政策５（自然環境）の分野では、成果が向上した指標が多く、順調に取組が進んだ分野と言えます。

一方、政策２（教育・生涯学習）、政策６（産業振興）の分野では、成果が向上した指標はあるものの、目標を達成した指標は少ない状況になっています。

図④　施策目標達成状況のまとめ（政策別）



⑵　総合計画の施策体系

政 策 名 称	施 策 名 称
1 みんなで支えあう 健康のまちづくり	1－1　健康づくりの推進
	1－2　地域医療・福祉医療の推進
	1－3　子育て支援の推進
	1－4　高齢者福祉の推進
	1－5　障がい者福祉の推進
	1－6　地域福祉の推進
2 豊かな心と知性を育むまちづくり	2－1　豊かな心・健やかな体を育む教育の推進
	2－2　確かな学力を育む教育の推進
	2－3　総合的な教育連携の推進
	2－4　生涯学習の振興
	2－5　文化の継承と振興
	2－6　スポーツの振興
3 快適な生活を支えるまちづくり	3－1　質の高い住環境の整備
	3－2　快適に移動できる交通基盤の整備
	3－3　安全で安定した水の供給
	3－4　衛生的で快適な下水道の整備
	3－5　雨水対策・河川整備の推進
4 安全で安心なまちづくり	4－1　防災・減災対策の推進
	4－2　消防･救急体制の充実
	4－3　交通安全対策の推進
	4－4　防犯対策の推進
	4－5　消費者・生活者の安心の確保
5 環境と調和したまちづくり	5－1　資源循環型社会の形成
	5－2　地球にやさしい生活の推進
	5－3　身近な緑・水辺環境の保全と創出
	5－4　生活衛生環境の向上
6 活力あふれるまちづくり	6－1　商業の振興
	6－2　工業の振興
	6－3　農業の振興
	6－4　勤労者支援・就労支援の充実
7 人と人とがふれあうまちづくり	7－1　市民によるまちづくり活動の推進と支援
	7－2　にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上
	7－3　男女共同参画社会の形成
8 分野横断的なまちづくりと市政運営	8－1　開かれた市政の推進
	8－2　行財政運営の推進
	8－3　組織・人事マネジメントの充実

⑶　施策ごとの目標達成状況

表の見方は次のとおりです。

① 政策１　みんなで支えあう健康のまちづくり

施策１－１　健康づくりの推進　②

施策がめざす尾張旭市の姿	・みんなが健康で元気に生活しています。　③

主 管 課	健康課　④
関 係 課	－
目標値の考え方	いつまでも元気に暮らせるまちづくりのため、積極的に施策を展開し、さらなる成果の向上をめざします。　⑤

成果指標①

施策の成果指標	健康だと思う市民の割合　⑥

（単位：％）

⑦基準値	実績値（市民アンケート）					⑧	⑨目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
90.1	88.2	88.1	－	87.5	－	90.1	92

⑩分析結果	目標の達成状況
令和５年度実績値 90.1%は、基準値と同数値ですが、目標値を下回りました。これは、健康づくりに関する情報を広報やホームページで周知したほか、地域に血圧や体組成を測定できる拠点の整備、各種健（検）診や健康づくり事業を行ったことなどが目標達成には至らなかったものの、高い水準を維持している要因であると考えています。	⑪

※次のページで、各番号の項目について説明します。

＜表の見方の説明＞

① 「政策名称」：政策の名称です。政策は全部で 8 あります。

② 「施策名称」：施策の名称です。施策は全部で 36 あります。

③ 「めざす姿」：施策がめざす将来の尾張旭市の姿です。

④ 「主管課・関係課」：施策の取りまとめを行う主管課と、施策に関係する課等の一覧です。

⑤ 「目標値の考え方」：施策の成果指標の目標値の考え方です。

⑥ 「施策の成果指標」：施策の成果指標（めざす姿の達成度を示すモノサシ）です。

⑦ 「基準値」：目標を立てる上で基準とした数値です。※原則、平成 25 年度の数値です。

⑧ 「R5 実績値」：「業務取得」、「課独自調査」及び「市民アンケート」から取得した第五次総合計画の最終年次の数値です。

※　原則として令和 5 年度の数値ですが、一部令和 3 年度の数値を令和 5 年度の実績値とみなしているものもあります。

⑨ 「目標値」：令和 5 年度の目標値です。

⑩ 「分析結果」：担当課による実績値についての分析です。

⑪ 「目標の達成状況」：基準値、R5 年度実績値及び目標値との比較による目標の達成状況を、あさぴーの表情（3 区分）で示しています。

・目標を達成したもの

・目標未達成だが、基準値より数値が向上したもの
・目標未設定のうち、基準値より数値が向上したもの

・目標未達成であり、基準値より数値が低下したもの
・目標未設定のうち、基準値より数値が低下したもの

政策１　みんなで支えあう健康のまちづくり

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

① 基本事業	② 基本事業のめざす姿	③ 基本事業成果指標（基本事業の目的達成度を示す指標）	④ 目標値	⑤ 前期基準値	⑥ 後期基準値	⑦ 実績値 R5	⑧ 数値の推移
1−1−1 健康増進事業の推進	●健康増進事業の推進により、市民の健康増進に関する意識が高まり、健康づくりに取り組む市民が増えています。	◆元気まる測定（あたま・からだ）年間参加者数	人 1,900	人 −	人 1,588	人 791	★
		◆健康増進に取り組む平均実践項目数（全７項目中）	項目 3.5	項目 2.71	項目 2.95	項目 2.95	★

＜表の見方の説明＞

① 「基本事業」：基本事業の名称です。

② 「基本事業のめざす姿」：この「基本事業」がめざす、将来の尾張旭市の姿です。

③ 「基本事業成果指標」：「基本事業のめざす姿」の達成度を示す指標（モノサシ）です。

④ 「目標値」：平成 30 年度の中間見直し時に策定した計画期間における目標値です。

⑤ 「前期基準値」：計画策定時における当該事業の実績値です。
※　原則平成 24 年度の数値です。

⑥ 「後期基準値」：中間見直し時における当該事業の実績値です。
※　原則平成 30 年度の数値です。

⑦ 「実績値 R5」：令和 5 年度末の当該事業の実績値です。
※　原則として令和 5 年度の数値ですが、一部令和 3 年度の数値を令和 5 年度の実績値とみなしているものもあります。

⑧ 「数値の推移」：「前期基準値」、「後期基準値」及び「実績値 R5」の推移をグラフで示したものです。
※　グラフはあくまでもイメージです。
目標値の凡例
★：上がると良い指標の目標値
▲：下がると良い指標の目標値
■：その他指標の目標値

施策１－１　健康づくりの推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・みんなが健康で元気に生活しています。

主 管 課	健康課
関 係 課	－
目標値の考え方	いつまでも元気に暮らせるまちづくりのため、積極的に施策を展開し、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	健康だと思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
90.1	88.2	88.1	－	87.5	－	90.1	92

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 90.1%は、基準値と同数値ですが、目標値を下回りました。これは、健康づくりに関する情報を広報やホームページで周知したほか、地域に血圧や体組成を測定できる拠点の整備、各種健（検）診や健康づくり事業を行ったことなどが目標達成には至らなかったものの、高い水準を維持している要因であると考えています。	

成果指標②－１

施策の成果指標	平均自立期間（男性）

（単位：歳）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H30	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
81.2	－	81.9	81.8	81.5	81.7	82.1	81.7

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 82.1 歳は、基準値から 0.9 ポイント増加し、目標値を達成しました。これは、健康づくりに関する取組を継続して推進してきたことが要因であると考えています。 ※（参考）愛知県：80.5 歳　全国：80.0 歳	

成果指標②－２

施策の成果指標	平均自立期間（女性）

（単位：歳）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H30	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
84.1	－	84.4	84.9	85.5	86.0	86.2	84.6

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 86.2 歳は、基準値から 2.1 ポイント増加し、目標値を達成しました。これは、健康づくりに関する取組を継続して推進してきたことが要因であると考えています。 ※（参考）愛知県：84.6 歳　全国：84.3 歳	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期基準値	後期基準値	実績値 R5	数値の推移
1−1−1 健康増進事業の推進	●健康増進事業の推進により、市民の健康増進に関する意識が高まり、健康づくりに取り組む市民が増えています。	◆元気まる測定（あたま・からだ）年間参加者数	人 1,900	人 −	人 1,588	人 791	★
		◆健康増進に取り組む平均実践項目数（全７項目中）	項目 3.5	項目 2.71	項目 2.95	項目 2.95	★
1−1−2 健康相談・保健指導の充実	●健康相談や保健指導などの充実により、健康に関する相談や指導が気軽に受けられます。	◆健康相談対応率 （相談件数）	% 100	% 100	% 100	% 100	★
			件 (9,000)	件 (9,464)	件 (7,840)	件 (7,179)	★
		◆保健事業への参加者数	人 13,000	人 14,947	人 12,345	人 9,314	★
1−1−3 早期発見・予防の充実	●疾病を早期に発見・予防できています。	◆定期的に健康診断（市・民間）を受けている市民の割合	% 83	% 81.6	% 82	% 82.3	★
		◆乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率	% 95	% 94.0	% 102.5	% 98.9	★
1−1−4 母子保健の充実	●母子保健の充実により、母子ともに健やかに育ち、生活できています。	◆乳幼児健康診査受診率	% 97	% 96.1	% 97.2	% 97.2	★
		◆乳幼児の健康状態が把握できている割合	% 99.5	% 99.5	% 99.2	% 99.5	★
		◆母子保健サービス※に対する満足度	% 80	% 77.7	% 79.6	% 82.2	★
1−1−5 市民参加による健康づくりの推進	●健康づくりのための組織づくりが、市民の参加により進められています。	◆健康づくりに参加しているボランティアの実人数	人 150	人 −	人 123	人 70	★

用語解説

※母子保健サービス／母子を対象とした健康診査、様々な相談に対する訪問指導や各種保健指導、医療対策などのこと。

施策１－２　地域医療・福祉医療の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・病気やケガの際に安心して医療が受けられるまちになっています。

主 管 課	健康課
関 係 課	保険医療課
目標値の考え方	成果指標は高水準にあるので、引き続き必要なコストを投じながら、施策を展開します。

成果指標

施策の成果指標	地域の医療機関を安心して利用している市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
93.9	91.9	92.7	－	93.9	－	93.9	95

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 93.9%は基準値と同数値ですが、目標値を下回りました。本市では 5 ㎞圏内に高度医療の病院が 3 か所、市内には医科診療所が 62 か所、歯科診療所が 47 か所あります。地域の医療施設が整っていることが、目標達成には至らなかったものの、高い数値を維持している要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
1−2−1 高度医療体制の充実	●高度医療体制が充実しています。	◆高度医療を５ｋｍ圏内で受けられる市民の割合	100%	100%	100%	100%	
1−2−2 救急医療体制の充実	●救急医療体制が充実しており、緊急時に医療が受けられます。	◆救急のときに瀬戸旭休日急病診療所で医療を受けられることを知っている市民の割合	80%	73.6%	78.7%	69.5%	
		◆救急医療を５ｋｍ圏内で受けられる市民の割合	100%	100%	100%	100%	
1−2−3 かかりつけ医制度の普及	●かかりつけ医制度の普及により、安心して医療や相談が受けられます。	◆かかりつけ医を持っている市民の割合	80%	72.3%	71.8%	70.6%	
1−2−4 福祉医療費の助成	●各種の福祉医療費の助成により、安心して医療が受けられます。	◆各種助成の年間助成件数	―	306,539件	304,621件	366,346件	
		（各種助成の年間助成金額）	―	千円 (826,310)	千円 (841,529)	千円 (1,055,948)	
		◆福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合	―	20.3%	19.0%	21.3%	
1−2−5 国民健康保険の健全な運営	●国民健康保険制度により、誰もが安心して医療が受けられます。	◆国民健康保険被保険者の１人あたりの年間医療費	―	千円 310	千円 334	千円 408	
		◆国民健康保険税収納率の県平均収納率との差	県平均以上	0.7%	1.67%	1.34%	

施策１－３　子育て支援の推進

施策がめざす尾島町の姿	・地域のなかで、安心して楽しく子育てできる環境が整っています。

主 管 課	こども未来課
関 係 課	保育課、こども課、子育て相談課
目標値の考え方	定住人口の増加を図るには、働きながら子育てしやすいまちづくりが重要となるため、国の動向などを踏まえ、積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

成果指標

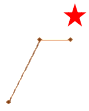
施策の成果指標	子育てしやすいまちだと思う中学生以下の保護者の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
89.6	84.1	87.2	－	81.0	－	74.9	93

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 74.9%は、基準値から 14.7 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、「育児リフレッシュ一時預かり事業」の試行運用を開始し、「子育て支援サービスの充実」を図ってきている一方で、待機児童が解消しておらず、保育園利用を希望する保護者に対して、支援が行き届いていないことが要因の一つであると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
1−3−1 子育て不安の解消	●子育て不安に対して、相談・情報交換できる場や仲間があり、子育てへの不安が軽くなっています。	◆乳幼児の子育て相談をする人がいない保護者の割合	1%	7.2%	1.3%	1.7%	
		◆市の子育て相談・情報交換できる場を知っている保護者の割合	75%	60.1%	68.9%	77.8%	
1−3−2 保育サービスの充実と施設整備	●保育サービスの充実や施設の整備により、安心して子どもを預けられ、働くことができています。	◆保育園満足度	95%	94.7%	95.2%	94.5%	
		◆保育園充足率	100%	100%	99.0%	98.5%	
1−3−3 放課後の居場所づくり	●放課後の子どもが、安全で健全な育成が図られる環境が整っています。	◆児童クラブ満足度	95%	93.6%	95.9%	95.9%	
		◆児童クラブ充足率	100%	100%	94.8%	98.5%	
1−3−4 地域の子育て支援	●子育てにおける地域連帯感が醸成され、多くの事業や催しに参加しています。	◆地域の子育て支援事業に参加したことがある保護者や子どもの割合	65%	53.6%	65.3%	46.1%	
1−3−5 子育ての経済的負担の軽減	●保護者の経済的負担が軽減されています。	◆子育て関連の手当受給者の延べ人数	−	7,833人	6,723人	6,011人	
1−3−6 発達が気になる子どもへの支援	●乳幼児期から、ライフステージを通じて一貫した支援を受けることができています。	◆発達支援等の事業の利用者数	1,900人	671人	1,860人	1,864人	
1−3−7 子どもの人権擁護	●子どもの権利が守られ、生活できています。	◆児童虐待による子どもの一時保護・施設入所件数	−	4件	10件	33件	

施策１－４　高齢者福祉の推進

施策がめざす尾島町の姿	・高齢者が健康で生きがいを持って、元気に生活しています。

主 管 課	長寿課
関 係 課	－
目標値の考え方	さらなる高齢化の進行が予想されるなか、積極的に健康づくりや生きがいづくりの施策を展開し、成果の維持・向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	自立高齢者の割合

（単位：%）

基準値	実績値（業務データ）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
86.8	85.2	84.7	80.2	79.7	83.0	82.5	82.9

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 82.5%は基準値から 4.3 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、後期高齢者が増加していることから、要介護認定者数が増加していることが要因であると考えています。	

成果指標②

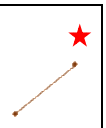
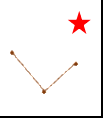
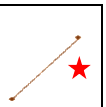
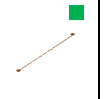
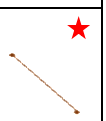
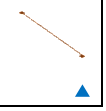
施策の成果指標	生きがいを持っている高齢者の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
81.9	70.8	70.5	－	66.2	－	66.2	85

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 66.2%は基準値から 15.7 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、シニアクラブ活動や趣味活動の中止や制限があったことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期基準値	後期基準値	実績値R5	数値の推移
1−4−1 高齢者の健康対策と社会参加の促進	●高齢者が健康を維持し続けるための取り組みを行っています。 ●高齢者が就労や交流等で、社会参加を活発に行っています。	◆地域活動に参加している高齢者の割合	35%	30.3%	27.7%	14.1%	
		◆高齢者の健康維持への取り組み平均実践項目数（全７項目中）	3.5項目	2.68項目	3.18項目	3.11項目	
		◆就労している７４歳以下の高齢者の割合	30%	―	27.5%	38%	
1−4−2 介護予防の推進	●介護予防への取り組みにより、高齢者が地域で自立して生活できています。	◆要支援認定の新規該当者の平均年齢	83歳	―歳	81.4歳	81.8歳	
		◆介護予防教室参加者の改善割合	88%	78.0%	86.4%	88.9%	
1−4−3 高齢者福祉の担い手育成	●高齢者福祉サービスの担い手が充足し、相互扶助が行われています。	◆高齢者福祉ボランティア団体等の参加人数	250人	211人	188人	123人	
		◆高齢者のための福祉ボランティアへの参加意向がある市民の割合	15%	13.7%	10.1%	12.7%	
1−4−4 高齢者福祉・介護サービスの充実	●高齢者が、住み慣れた地域で生活できるよう、福祉・介護サービスが提供されています。	◆介護サービス利用者の満足度	90%	81.6%	89.7%	97.2%	
		◆一般高齢者サービス利用者の満足度	96%	94.6%	90%	88.2%	
1−4−5 地域包括ケアシステムの推進	●支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護、介護予防、住宅、地域生活支援サービスが個々のニーズに応じて提供されています。 ●高齢者の人権が尊重され、安心して暮らしています。	◆要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合	88%	―%	85.7%	90.6%	
		◆地域包括における高齢者の相談対応件数	9,000件	―件	6,249件	7,170件	
		◆地域包括３課題への取り組み件数（累計）	27件	―件	25件	13件	
		◆高齢者虐待件数（認定）	0件	―件	9件	8件	

施策１－５　障がい者福祉の推進

施策がめざす尾島町の姿	・障がい者が安心して生活し、社会参加できています。

主 管 課	福祉課
関 係 課	－
目標値の考え方	今後も地域や事業者との連携を図りながら、引き続き障がい者福祉の推進に努めます。

成果指標

施策の成果指標	在宅で生活している障がい者の割合

（単位：％）

基準値	実績値（業務データ）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
98.9	99.1	99.2	99.3	99.2	99.3	99.4	99

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 99.4%は基準値から 0.5 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、市内における障がい者数が増加したのに対し、施設入所者は減少していることが要因であると考えています。 ※算定式（在宅障がい者数/全障がい者数）⇒（3790 人－23 人）/3,790 人＝99.39%⇒99.4%	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
1－5－1 障がい者の社会参加の促進	●障がい者が自立し社会参加ができるよう、介護給付、就労支援などの様々なサービスが提供されています。	◆障がい者の自立支援サービス受給者数	480人	267人	455人	550人	
		◆施設入所から在宅生活への移行人数	3人	1人	2人	0人	
1－5－2 障がい者の自立支援	●行政・ボランティアの支援などにより、障がい者の行動範囲が広がるなど、自立が促進されています。	◆障がい者支援ボランティアの人数	350人	292人	236人	234人	
		◆地域生活支援事業※延べ利用者数	3,700人	2,252人	3,221人	2,375人	
1－5－3 障がい者の人権擁護	●障がい者の人権が尊重されています。 ●養護者に対する支援が行われています。	◆障がい者の虐待件数	0件	0件	2件	8件	
		◆障害者差別に関する事案件数	0件	0件	0件	0件	

用語解説

※地域生活支援事業／障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、生活の支援を行う事業のこと。

施策１－６　地域福祉の推進

施策がめざす尾島町の姿	・ともに支えあい、安心して暮らせる地域社会が形成されています。

主 管 課	福祉政策課
関 係 課	福祉課
目標値の考え方	少子高齢・人口減少・地域社会の脆弱化など、社会構造が変化しているなか、今後も市民との協働による地域福祉活動に取り組み、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	住民同士で相互扶助ができている市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H30	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
43	43	42.4	－	36.1	－	35.5	47

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 35.5%は基準値から 7.5 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、働き方の変化や生活様式の多様化等に伴う地域活動における日常的な関わりの減少等が要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	社会福祉協議会の会員数

（単位：人）

基準値	実績値（業務データ）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
2,347	2,746	2,633	2,594	2,546	2,491	2,460	2,800

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 2,460 人は基準値から 113 人増加しましたが、目標値を下回りました。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っているイベントや事業が中止、もしくは小規模での開催となったこと等を理由に、会員数が減少したことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
1－6－1 地域福祉活動の推進	●関係者が相互に連携し、地域福祉活動が活性化しています。 ●地域社会を担う人材の発掘・育成ができています。	◆地域福祉活動・ボランティアへの参加意識の高い市民の割合	67 %	61.4 %	54.2 %	57.8 %	
		◆ボランティアセンター登録者数	2,800 人	2,560 人	2,091 人	1,398 人	
1－6－2 災害時要支援者※への支援	●災害時に、手助けが必要なかたが把握され、地域ぐるみでの支援が行われる体制が整っています。	◆近所に、災害時に助けが必要な人がいることを知っている市民の割合	25 %	17.3 %	16.2 %	35.5 %	
		◆避難行動要支援者台帳の延べ提供団体数	52 団体	38 団体	48 団体	53 団体	
1－6－3 生活困窮者への支援	●生活困窮者に対し、適切に福祉サービスが提供されています。	◆自立による保護廃止件数	10 世帯	12 世帯	7 世帯	3 世帯	
		◆自立支援プログラムにより生活改善が図られた者の割合	50 %	50 %	100 %	22 %	

用語解説

※災害時要支援者／高齢者や障がい者といった災害時に自力で避難することが困難な人のこと。

施策２－１　豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

施策がめざす尾島町の姿	・学校生活を楽しく過ごせ、豊かな心と健やかな体が育まれています。

主 管 課	学校教育課
関 係 課	－
目標値の考え方	成果指標は高い水準にありますが、施策を展開するなかで、引き続き成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	学校生活を楽しく送っている児童の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
97	95.0	－	93.6	96.3	93.9	94.6	98

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 94.6%は基準値から 2.4 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症への対策として行った教育活動の様々な制限や行事の見直しにより、体験活動等が減少していることが要因であると考えています。	

成果指標②

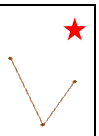
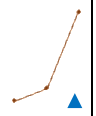
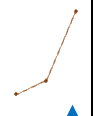
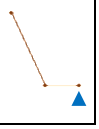
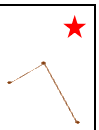
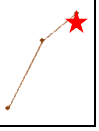
施策の成果指標	学校生活を楽しく送っている生徒の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
92.9	92.9	－	94.2	95.5	90.7	93.9	94

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 93.9%は基準値から 1.0 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症への対策として行った教育活動の様々な制限や行事の見直しがありながらも、工夫した活動に取り組んだことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2−1−1 道徳性・社会性の向上	●道徳性・道徳的実践力が向上しています。 ●不登校となる児童生徒が減少しています。 ●いじめや不登校となった児童生徒・保護者に対して適切な支援ができています。	◆道徳・ルールを守る児童の割合	96%	94.8%	91.7%	93.7%	
		◆道徳・ルールを守る生徒の割合	88%	83.1%	86.7%	91.3%	
		◆不登校児童発生率	0.23%	0.26%	0.62%	2.83%	
		◆不登校生徒発生率	1.8%	2.5%	3.23%	6.94%	
		◆いじめ不登校等に関する相談への対応率	100%	100%	100%	100%	
		（相談件数）	（−）	件 (9,537)	件 (27,813)	件 (26,457)	
		◆性行不良※の生徒数	0人	10人	1人	1人	
2−1−2 健康教育の推進	●児童生徒の健康が管理され、体力が向上しています。	◆肥満度±２０%以上の児童の割合（太りすぎ、痩せすぎ）	5.5%	6.4%	7.3%	8.8%	
		◆肥満度±２０%以上の生徒の割合（太りすぎ、痩せすぎ）	9.5%	10.8%	11.2%	12.3%	
2−1−3 学校教育における食育の推進	●食に対する基礎知識を習得し、健康的な食習慣が形成されています。	◆食育に関する平均実践項目数（児童）（全５項目中）	3.8項目	3.2項目	3.3項目	3.0項目	
		◆食育に関する平均実践項目数（生徒）（全５項目中）	3.0項目	2.4項目	2.9項目	3.1項目	

用語解説

※性行不良／触法行為を行うことや日常の行いが悪いこと。

施策２－２　確かな学力を育む教育の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・学習意欲をもって授業を受け、確かな学力が育成されています。

主 管 課	学校教育課
関 係 課	教育政策課
目標値の考え方	次代を担う子どもたちが育まれるまちづくりのため、積極的に施策を展開し、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	指導要録の評定で全教科の評定が２以上である児童の割合

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
90	91.3	90.5	89.4	89.3	89.4	86.5	94

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 86.5%は基準値から 3.5 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、基礎学力がついている児童も一定数いますが、児童生徒個人の得意不得意による教科間の成績差が影響していると分析します。また、令和 2 年から施行された新しい学力観に基づく評価基準の違いによることも要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	指導要録の評定で全教科の評定が３以上である生徒の割合

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
55	46.6	46.1	42.2	44.0	51.1	51.4	65

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 51.4%は基準値から 3.6 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、苦手教科があるために、全ての教科で 3 以上とならないこと。また、苦手教科を克服するのではなく、受け入れて得意教科のみに注力する生徒がいることが要因であると考えています。	

成果指標③

施策の成果指標	学習意欲がある児童の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
95.8	94.8	－	93.4	94.4	93.0	92.7	97

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 92.7%は基準値から 3.1 ポイント減少し、目標値を下回りました。教職員研修の実施により、多くの児童が活躍できる場を設定し自ら学習したいと思わせる授業を展開していますが、学習に対して意欲的になれない児童がいることが要因であると考えています。	

成果指標④

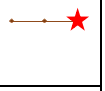
施策の成果指標	学習意欲がある生徒の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
84.3	85.3	－	88.9	92.4	89.8	88.9	90

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 88.9%は基準値から 4.6 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。教職員研修の実施により、多くの生徒が活躍できる場を設定し、自ら学習したいと思わせる授業を展開しています。生徒主体の授業を実施する一方で、現状では生徒の学習に対して主体的に取り組む姿勢が徐々に高まってきている段階であることが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2−2−1 学力の定着	●分かりやすい授業を受け、理解度が高まっています。	◆授業が分かると答える児童の割合	96%	94.2%	93.4%	92.9%	
		◆授業が分かると答える生徒の割合	85%	77.4%	83.3%	87.7%	
2−2−2 個に応じたきめ細やかな指導の充実	●個に応じた支援を行い、成長段階に応じた教育が受けられています。	◆少人数指導授業を受けている児童の割合	100%	73.8%	94.8%	100%	
		◆少人数指導授業を受けている生徒の割合	100%	100%	100%	100%	
		◆特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率	100%	42.6%	100%	100%	
2−2−3 特色ある学校づくりの推進	●各学校で創意工夫を活かした教育活動が展開され、地域の特性を活かした特色のある学校づくりが進んでいます。	◆地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合	100%	97.2%	100%	89.9%	
2−2−4 教職員の資質向上	●教員の資質向上及び負担軽減が図られ、児童生徒がより良い指導を受けられている。	◆教職員の研修受講割合	100%	100%	100%	100%	
		◆校内現職研修実施回数	20回	11回	14.9回	15.1回	
		◆研修効果があったと感じる教職員の割合	95%	93.4%	93.2% (H29)	93.2%	
2−2−5 教育環境の整備	●児童生徒が安全で快適な教育環境で学んでいます。	◆大規模改修工事を完了した学校数の割合	50%	8.3%	33%	42%	
		◆施設維持管理上の不具合による教育支障件数	0件	0件	0件	0件	
		◆通学路上の危険箇所に対する要望への対応率	86%	86.4%	79.5%	83.3%	

施策２－３　総合的な教育連携の推進

施策がめざす尾島町の姿	・学校・家庭・地域それぞれのコミュニケーションや教育力が向上し、学習環境が向上しています。

主 管 課	学校教育課
関 係 課	生涯学習課、保育課
目標値の考え方	今後も学校・家庭・地域の連携を深め、引き続き地域教育力の充実に努めます。

成果指標①

施策の成果指標	学校・家庭・地域のコミュニケーションが図られていると感じる市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
87.9	85.9	86.9	－	89.4	－	89.4	90

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 89.4%は基準値から 1.5 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。令和 4 年度から市内各小中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」が推進されているほか、学校評価アンケートやホームページなどを通して、学校の様子が適切に発信されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のコミュニティ活動が制限されていたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2−3−1 家庭教育力の充実	●家庭教育力が高まり、家庭内で発達段階に応じた教育が適切にされています。	◆家庭教育の重要性を理解し行動している保護者の割合	45 %	39.2 %	40.9 %	43.9 %	
		◆家庭教育に関する講座の参加者数	2,200 人	2,236 人	2,202 人	1,212 人	
		（親子天体観測教室の参加者数）	（250）人	（308）人	（149）人	（147）人	
2−3−2 地域教育力の充実	●地域での教育活動が活発にされています。	◆地域教育活動に参加した市民の割合	12 %	6.9 %	10.8 %	8.6 %	
		◆授業等の支援に参加した人の割合	3.9 %	1.1 %	3.0 %	1.1 %	
2−3−3 学校・家庭・地域の連携	●学校・家庭・地域の交流や教育支援が活発に行われています。	◆学校行事への保護者の参加率	65 %	65.3 %	62.8 %	49.0 %	
		◆開かれた学校づくりに対する地域住民の満足度	70 %	65.6 %	66.9 %	77.0 %	
		◆地域からの要望や提案への対応･改善を実践した件数	50 件	57 件	58 件	46 件	
		◆地域活動に参加した児童生徒、教職員の割合	72 %	60 %	70.2 %	61.7 %	
2−3−4 就園・就学の支援	●保護者の経済的な負担が軽減され、就園・就学ができています。	◆私立幼稚園に就園している満３～５歳児で支援を受けている園児数	―	1,025 人	1,001 人	1,080 人	
		◆小学生から中学生までで就学の支援を受けている児童生徒数	―	825 人	861 人	735 人	

施策２－４　生涯学習の振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・生涯学習に多くの人が取り組み、彩りのある豊かな人生を過ごしています。 ・「いつでも、どこでも、誰でも」を実現する生涯学習環境が整い、心豊かで生きがいのあるまちづくりが進んでいます。

主 管 課	生涯学習課
関 係 課	図書館
目標値の考え方	市民の生きがいづくりのため、生涯学習に取り組むきっかけとなるよう、引き続き施策を展開します。

成果指標①

施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
44.1	43.3	47.4	－	37.6	－	37.6	48

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 37.6%は基準値から 6.5 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により生涯学習に取り組んでいた市民の活動が中断となったことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	生涯学習環境に対する総合的な満足度

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
66.2	67.8	63.6	－	71.8	－	71.8	67

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 71.8%は基準値から 5.6 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、オンラインの手法を取り入れるなどして生涯学習に取り組む環境を整えたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2－4－1 生涯学習活動の参加促進	●市民ニーズに応じた、様々な生涯学習の機会が提供され、市主催の講座・教室に多くの市民が参加しています。	◆生涯学習関連の講座・教室の参加者数 （市主催の参加者数）	千人 60	千人 82	千人 56	千人 56	
			千人 (32)	千人 (38)	千人 (30)	千人 (24)	
		◆市主催の生涯学習関連の講座・教室の定員充足率	% 85	% 84.6	% 72.6	% 72.4	
		◆生涯学習活動に関する機会の満足度	% 70	% 69.0	% 70.5	% 72.8	
		◆高齢世代（６０歳以上）で生涯学習に取り組んでいる市民の割合	% 60	% 51.7	% 49.4	% 38.9	
2－4－2 生涯学習情報の提供	●生涯学習に関する情報の収集、一元的な提供が充実しています。 ●市民参加による実施体制が整っています。	◆生涯学習に関連する情報提供に関する満足度	% 65	% 63.4	% 66.1	% 70.0	
		◆生涯学習団体リスト登録件数	団体 115	団体 112	団体 80	団体 33	
		◆生涯学習教授リスト登録人数	人 225	人 222	人 207	人 206	
2－4－3 生涯学習施設の利用促進	●生涯学習に関する施設が整備され、多くの市民に利用されています。	◆公民館利用者数	千人 360	千人 354	千人 362	千人 279	
		◆生涯学習施設の満足度	% 67	% 66.3	% 66.8	% 71.8	
2－4－4 読書環境の整備	●図書館が充実し、多くの市民に利用されています。	◆図書館の設備・資料の満足度	% 61	% 60.5	% 58.9	% 66.2	
		◆市民１人あたりの図書館資料総貸出点数	点 8.5	点 8.1	点 7.0	点 6.9	

施策２－５　文化の継承と振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・伝統文化が保存・継承されています。 ・芸術文化活動に親しんだり参加する市民が増加し、こころが豊かになります。

主 管 課	文化スポーツ課
関 係 課	－
目標値の考え方	芸術文化の機会・場の提供や、伝統文化の保存・継承のために、引き続き積極的に施策を展開します。

成果指標①

施策の成果指標	尾張旭市の文化財の認知割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H30	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
21.2	21.2	23.2	－	15.5	－	15.5	25

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 15.5%は基準値から 5.7 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事やイベントが中止となり、啓発機会が減少したことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	芸術文化活動を鑑賞・参加している市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H30	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
37.8	37.8	38.0	－	20.5	－	20.5	55

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 20.5%は基準値から 17.3 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事やイベントが中止となり、芸術文化活動の鑑賞や参加する機会が減少したことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2－5－1 文化財、伝統文化の保存と継承	●文化財の保存活動を通じて、尾張旭市の伝統文化が保存・継承されています。 ●歴史講座等を通じて文化財や史跡への関心が高まり、保存と公開が進められています。	◆文化財の保存活動の参加者数	人 1,050	人 921	人 1,020	人 1,066	
		◆歴史講座、史跡めぐり等の参加者数	人 200	人 140	人 224	人 294	
2－5－2 地域文化活動団体の育成	●市民が主役となった地域文化活動が行われています。 ●支援組織やボランティアが育成されています。	◆文化協会加入団体数	団体 72	団体 70	団体 72	団体 68	
		◆文化活動支援のために組織されたボランティアの団体数	団体 6	団体 5	団体 6	団体 6	
2－5－3 芸術文化活動の環境整備	●市民の芸術文化鑑賞･発表の機会と場が提供され、活動が活発に行われています。	◆文化会館自主事業に鑑賞・参加した人数	人 9,000	人 8,353	人 8,499	人 6,906	
		◆芸術文化活動に関する機会の満足度	% 65	% 62.1	% 60.4	% 69.1	
		◆芸術文化拠点施設（文化会館）の利用率	% 30	% 29.4	% 27.6	% 39.2	

施策２－６　スポーツの振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・スポーツをする市民が増加しています。

主 管 課	文化スポーツ課
関 係 課	－
目標値の考え方	市民の生きがいづくりのため、市民自らスポーツに取り組めるよう、健康づくりの推進と併せて積極的に施策を展開し、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
61.3	70.0	75.6	－	71.3	－	71.3	75

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 71.3%は基準値から 10 ポイント向上しましたが、目標を下回りました。これは、本市の健康都市の取組の浸透やコロナ禍を経た健康意識の高まりなど、健康づくりに気を付けている市民が増加したことなどが要因として考えられます。	

成果指標②

施策の成果指標	スポーツ活動を週１回以上行う成人市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
50.9	58.5	63.8	－	54.4	－	54.4	65

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 54.4%は基準値から 3.5 ポイント向上しましたが、目標を下回りました。これは、健康づくりを目的として、気軽に取り組むことができるウォーキングなどを行う市民が増えた一方で、仕事や家事が忙しくスポーツ活動を行う時間を取ることができない市民もいることなどが要因として考えられます。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
2－6－1 スポーツ活動の参加促進	●市民がスポーツ活動を行う機会が充実し、参加が促進されています。	◆スポーツ教室・大会等に参加した市民の割合	% 22	% 16.7	% 20.6	% 10.8	
		◆スポーツをする機会の満足度	% 70	% 65.1	% 65.6	% 71.3	
2－6－2 スポーツ団体・指導者の育成	●スポーツの活動団体や指導者が育成され、スポーツ活動が活発になっています。	◆スポーツ団体数	団体 22	団体 21	団体 20	団体 20	
		◆スポーツ指導者養成者数	―	人 1,342	人 3,644	人 5,776	
2－6－3 スポーツ活動の環境整備	●スポーツ活動に関する施設や設備が充実し、多くの市民が利用しています。	◆スポーツ施設・設備の満足度	% 60	% 58.0	% 55.7	% 65.8	
		◆スポーツ施設の利用者数	千人 545	千人 506	千人 536	千人 558	
		◆学校体育施設開放の利用者数	千人 120	千人 105	千人 119	千人 136	

施策３－１　質の高い住環境の整備

施策がめざす尾張旭市の姿	・秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されています。 ・街区や公園などの住環境が整備され、快適に生活できる環境が整っています。

主 管 課	都市計画課
関 係 課	都市整備課、公園農政課
目標値の考え方	成果指標は高い水準にありますが、引き続き積極的に施策を展開し、住宅都市としての本市の魅力の維持・向上に努めます。

成果指標①

施策の成果指標	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
90.2	91.4	91.8	－	93.6	－	93.6	92

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 93.6%は基準値から 3.4 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、区画整理事業の進捗や公園整備事業、民間開発事業等により、道路や公園等の整備が進んだことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
3−1−1 良好な市街地の形成	●計画的な市街地整備が進められています。 ●市街地整備の推進によって秩序ある街並みが形成されています。	◆都市計画マスタープラン※（市街地整備分）の進捗率	% 98.0	% 88.3	% 91.3	% 96.1	
		◆秩序ある街区となっている市街地面積割合	% 60.1	% 57.8	% 59.1	% 59.7	
3−1−2 公園等によるうるおいのある空間づくり	●うるおいとやすらぎを与える市街地空間が形成され、安全で快適に利用できるよう維持管理されています。	◆市街地の公園などの面積	ha 88	ha 84.3	ha 86.1	ha 87.9	
		◆公園施設の不具合による事故件数	件 0	件 —	件 0	件 1	
3−1−3 都市景観の向上	●美しい街並みが形成されています。	◆都市景観に満足している市民の割合	% 85	% 82.4	% 77.3	% 85.2	
3−1−4 市営住宅の適切な管理	●市営住宅が適切に維持管理されています。	◆市営住宅の維持管理上の事故件数	件 0	件 0	件 0	件 0	

用語解説

※都市計画マスタープラン／都市計画法に基づき、市民の意思を反映しつつ、中長期を見据えた都市計画に関する基本的な方針のこと。

施策３－２　快適に移動できる交通基盤の整備

施策がめざす尾張旭市の姿	・市内・市外への移動を円滑に行うことができています。

主 管 課	都市計画課
関 係 課	土木管理課
目標値の考え方	住みやすく出かけやすいまちづくりにより、まちの魅力を高めるため、引き続き積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	市外への移動が円滑に行えると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
89.1	87.3	88.9	－	91.5	－	91.5	92

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 91.5%は基準値から 2.4%向上しましたが、目標値を下回りました。これは、霞ヶ丘線の開通により移動の利便性が上がったことが成果向上の要因の一つであると考えていますが、目標達成に至りませんでした。	

成果指標②

施策の成果指標	市内の移動が円滑に行えると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
85.7	83.2	83.3	－	87.5	－	87.5	90

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 87.5%は基準値から 1.8%向上しましたが、目標値を下回りました。これは、市営バスの運行見直しにより移動の利便性が上がったことが成果向上の要因の一つであると考えていますが、目標達成に至りませんでした。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
3−2−1 公共交通による移動手段の確保	●公共交通網が整備され、移動手段が確保されています。	◆市内の移動に困っている市民の割合	10 %	11.4 %	11.8 %	10.3 %	
3−2−2 駅・駅周辺施設の整備	●駅、駅前広場、バス停、タクシー乗り場などが整備され、乗り継ぎが円滑にできています。 ●駅･駅周辺施設が整備されています。	◆駅前広場の整備率	75 %	75 %	75 %	75 %	
		◆駅・駅周辺施設の利用者満足度	75 %	75.4 %	71.1 %	77.1 %	
		◆駅のバリアフリー化率	100 %	50 %	75 %	100 %	
3−2−3 幹線道路整備の推進	●幹線道路が整備され、円滑に移動可能な道路が増えています。	◆自動車での幹線道路利用による満足度	85 %	79.8 %	73.4 %	80.8 %	
3−2−4 生活道路の整備と維持管理	●生活道路が、誰もが安全に利用できるように維持管理されています。	◆歩道のバリアフリー化実施箇所数	390 箇所	275 箇所	355 箇所	400 箇所	
		◆市民により生活道路等が維持管理されている箇所数	19 箇所	14 箇所	13 箇所	19 箇所	
		◆道路管理の瑕疵（かし）により損害賠償の対象となった件数	0 件	0 件	0 件	1 件	

施策３－３　安全で安定した水の供給

施策がめざす尾張旭市の姿	・安全で安定した水道水を使うことができます。

主 管 課	上水道課
関 係 課	経営政策課
目標値の考え方	成果指標は高い水準にありますが、引き続き安全で安定した水道水の供給に努めます。

成果指標①

施策の成果指標	安全な水道水が供給されている割合

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
100	100	100	100	100	100	100	100

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 100%は基準値と同数値であり、目標値を達成しました。これは、水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水を供給することができたことによるものです。	

成果指標②

施策の成果指標	水道水供給事故回数

（単位：回）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
0	0	0	0	0	0	0	0

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 0 回は基準値と同数値であり、目標値を達成しました。これは、広範囲（100 世帯以上）において水道水の供給に支障が出るような大規模な事故はなかったことによるものです。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
3−3−1 安心な水の供給による信頼される水道（安全）	●安心な水質の水道水を供給できる仕組みが整っています。	◆給水栓水質検査採水箇所数	箇所 5	箇所 −	箇所 4	箇所 4	
		◆直結給水比率	% 77.2	% −	% 75.9	% 78.3	
3−3−2 災害に負けないたくましい水道（強靭）	●震災時でも安定して水道水が供給されています。	◆配水管の老朽化率	% 33.5	% 11.7	% 21.5	% 31.0	
		◆幹線管路の耐震化率	% 40.4	% 20.9	% 30.3	% 37.8	
		◆有収率※	% 96	% 96	% 95.2	% 93.6	
		◆応急給水拠点箇所数	拠点 15	拠点 8	拠点 13	拠点 15	
3−3−3 いつまでも続く安定した水道（持続）	●上水道事業の経営が健全に行われています。	◆総収支比率※	100% 以上	% 103.55	% 121.0	% 118.5	
		◆企業債残高対給水収益比率	300% 以下	% −	% 39.5	% 25.4	

用語解説

※有収率／給水量に対する、水道料金徴収の基礎となる使用量の割合のこと。有収率が高いほど、水道経営が効率的で望ましい状態とされる。

※総収支比率／公営企業の収益性を見る際の代表的な指標であり、費用が収益によってどの程度賄われているかを示すもの。

施策３－４　衛生的で快適な下水道の整備

施策がめざす尾島町の姿	・下水道が整備され、衛生的で快適なまちになっています。

主 管 課	下水道課
関 係 課	浄化センター、経営政策課
目標値の考え方	衛生的で快適な住みよいまちづくりのため、積極的に施策を展開し、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	下水道普及率

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
63.7	76.6	79.6	82.4	84.6	86.8	88.4	83

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 88.4%は、基準値から 24.7 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、計画的な下水道面整備を実施し、その実績を積み重ね、順次供用開始区域を広げたことによるものです。	

成果指標②

施策の成果指標	水洗化率

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
94.5	91.1	89.6	89.2	90.0	90.0	90.8	94

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 90.8%は基準値から 3.7 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、公共下水道利用人口は計画どおりに増加しているが、計画的な下水道面整備の実施によって、分母となる供用開始区域内人口が目標以上に増加したことによるものです。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
3－4－1 汚水管の整備促進	●汚水管※の整備により、公共下水道に接続できる地区が増えています。	◆下水道総整備面積	ha 1,015	ha 742.6	ha 886.7	ha 1,030.6	
3－4－2 処理施設の整備と維持管理	●下水処理施設の処理能力が確保され、適切な維持管理により、良好な汚水処理がされています。	◆処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数	日 0	日 0	日 4	日 0	
		◆処理施設の維持管理不具合件数	件 0	件 0	件 0	件 0	
3－4－3 管渠施設の維持管理	●管渠施設が適切に維持管理されています。	◆管渠・マンホールの保守点検箇所数	箇所 1,000	箇所 1,009	箇所 1,141	箇所 1,202	
		◆管渠補修箇所数（単年度）	箇所 100	箇所 －	箇所 108	箇所 14	
3－4－4 水洗化の普及促進	●水洗化の普及促進の取り組みにより、水洗化する世帯が増えています。	◆水洗化人口	人 66,800	人 49,248	人 58,269	人 67,262	
3－4－5 持続可能な下水道経営の推進	●下水道事業の経営が健全に行われています。	◆総収支比率	100% 以上	% －	% 101.0	% 99.9	
		◆一般会計からの基準外繰入金（収益的収支）	10% 以下	% －	% 9.9	% 10.4	

用語解説

※汚水管／日常生活又は生産活動などの事業に起因して生じる排水を流す管のこと。

施策３－５　雨水対策・河川整備の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・排水施設や河川が整備され、雨に強いまちになっています。

主 管 課	土木管理課
関 係 課	－
目標値の考え方	地形や異常気象などに影響されやすい施策ですが、雨水対策が必要な地域において、引き続き排水施設の整備を積極的に進めます。

成果指標

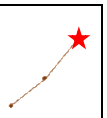
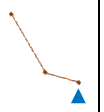
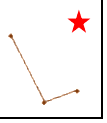
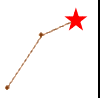
施策の成果指標	床上浸水家屋数

（単位：件）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
0	0	0	0	0	0	0	0

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 0 件は基準値と同数値であり、目標値を達成しました。これは、幹線排水路や河川の整備、側溝の改修などの浸水災害対策が適切に行われてきたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
3－5－1 排水施設の整備・維持管理	●排水施設が整備され、浸水しにくくなっています。 ●既存の排水施設が適切に維持管理されています。	◆幹線排水路※の整備率	100 %	98 %	98.8 %	100 %	
		◆道路冠水箇所数	11 箇所	19 箇所	13 箇所	12 箇所	
		◆側溝改修延長	800 m	671 m	339 m	396 m	
3－5－2 河川の整備	●河川が計画的に整備されています。	◆河川整備率	84.1 %	79.7 %	83.1 %	84.1 %	

用語解説

※幹線排水路／比較的広い区域の雨水を排除するための排水路のこと。

施策４－１　防災・減災対策の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・災害に強いまち、減災できる人・地域になっています。

主 管 課	危機管理課
関 係 課	－
目標値の考え方	地震災害や風水害等の対策を進めるため、地域との連携のもと啓発を進め、積極的に自助・共助の意識を高めることにより、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	市の災害対策・防災体制に安心感を持つ市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
65.4	66.5	66.9	－	76	－	69.9	70

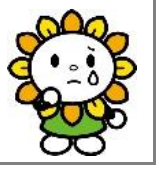
分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 69.9%は基準値から 4.5 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。これは、市民に対して防災体制の啓発活動を積極的に行うとともに、ペット防災等の新たな取組によって、市民が抱く安心感につながったことが成果向上の要因であると考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

成果指標②

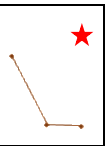
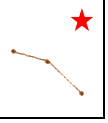
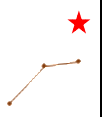
施策の成果指標	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
37.6	36.3	36.8	－	33	－	35.5	55

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 35.5%は基準値から 2.1 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、自助・共助の重要性について、あまり認識されていないことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
4－1－1 防災・減災意識の高揚	●市民一人ひとりの防災・減災意識が高まり、災害時に自発的に行動できるようになっています。	◆各公民館及び小中学校（体育館）が避難所であることを知っている市民の割合	80％	74.8％	69.6％	69.5％	
		◆家庭での防災・減災対策の平均実践項目数（全１４項目中）	7項目	4.8項目	4.6項目	4項目	
4－1－2 災害情報システムの充実	●災害情報が適切に収集され、伝達されています。	◆災害情報メール配信サービス加入者数	10,000人	6,601人	8,829人	9,137人	
4－1－3 避難生活の支援	●避難所が確保され、食糧等の備蓄がされています。	◆避難想定住民（8,262名）への１人あたりの食数	9食	－食	8.3食	11.1食	
		◆避難所の充足率	100％	111％	70.1％	95％	
4－1－4 防災体制の充実	●災害発生時に迅速に対応できる体制が整っています。	◆自主防災組織が実施した防災活動日数の平均数	24日	19.0日	17日	14.7日	
		◆市や地域の防災訓練に参加している市民の割合	20％	15.3％	12.3％	25.0％	
		◆災害時に職員として果たすべき役割や初動ができる職員の割合	95％	88.5％	81.3％	76.6％	
		◆防災協定の締結数	71件	47件	69件	95件	

施策４－２　消防・救急体制の充実

施策がめざす尾鷲市の姿	・消防・救急活動が迅速に行われ、市民の生命や財産が守られています。

主 管 課	消防総務課
関 係 課	消防署、予防課
目標値の考え方	成果の推移は個々の事案の発生状況によるところが大きいですが、消防・救急体制の充実に努め、さらなる成果の改善が図られるよう、積極的に取り組みます。

成果指標①

施策の成果指標	人口１万人当たりの火災発生件数（出火率）

（単位：件）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
2.57	－	2.5	2.4	1.8	1.8	2.0	2

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年実績値 2.0 件は基準値から 0.57 件減少し、目標値を達成しました。これは、火災予防普及啓発事業の実施によって、市民の防火意識が向上したことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	心肺機能停止患者の生存率

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
9.7	8.1	7.5	10.3	8.0	6.3	7.7	－

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年実績値 7.7%は、基準値から 2 ポイント減少しました。これは、傷病者の容態、現場までの距離及び現場の状況など、消防側ではコントロールできない要因によるものが大きいと考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
4－2－1 火災予防体制の充実	●火災の未然防止や初期消火を行うことができる市民が増えています。	◆消火器を使うことのできる市民の割合	55%	44.8%	41.3%	39.8%	
		◆防火対象物の立入検査後の改善率	65%	58.1%	73.0%	68.2%	
4－2－2 消防力の強化	●消防機械・器具・施設及び職員・団員が強化され、多様化する火災に対応できています。	◆消防職員の充足率	100%	93.1%	92.2%	100%	
		◆消防車の現場平均到着時間	8.5分	7.2分	8.6分	9.8分	
		◆水利基準※達成率	92%	89.7%	91.1%	93.0%	
		◆消防団員の充足率	100%	98.4%	96.1%	99.2%	
4－2－3 救急・救助体制の充実	●消防署・救急隊員・救急設備などの救命体制が充実し、救命率の向上が図られています。	◆救急車の現場平均到着時間	6.8分	6.5分	6.8分	6.8分	
		◆救急救命士の救急車同乗率	100%	98.1%	99.5%	100%	
		◆現場に居合わせた救命講習受講者による心肺蘇生実施率	20%	12.9%	27.8%	27.3%	

用語解説

※水利基準／消防の基準で、用途地域に応じて、一定の距離の間に消火栓、防火水槽、プール、河川、池などの給水能力のある施設を設置する基準のこと。

施策４－３　交通安全対策の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・交通事故が少なくなり、死傷者数が減っています。

主 管 課	市民活動課
関 係 課	－
目標値の考え方	交通事故の件数及び死傷者数は、減少傾向にありますが、交通安全対策を推進し、さらなる成果の向上に努めます。

成果指標①

施策の成果指標	人口千人当たりの交通事故発生件数

（単位：件）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
32.2	30.8	28.8	23.4	25.7	25.6	27.8	26.2

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 27.8 件は基準値から 4.4 件減少しましたが、目標値を下回りました。交通安全啓発活動を実施し、交通安全意識の向上に努めたことが成果向上の要因であると考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

成果指標②

施策の成果指標	人口千人当たりの交通事故死傷者数

（単位：人）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
6.9	5.0	4.5	2.7	3.7	3.3	3.3	3.5

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 3.3 人は基準値から 3.6 人減少し、目標値を達成しました。これは、交通安全啓発活動を実施し、交通安全意識の向上に努めたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
4－3－1 交通安全意識の高揚	●市民一人ひとりの交通安全意識が高まり、交通マナーが守られています。	◆市内で発生した交通事故で、第一当事者が重大な違反をした件数	10 件	17 件	13 件	6 件	
4－3－2 市民参加の交通安全活動の推進	●市民参加の交通安全活動が積極的に行われています。	◆交通安全活動を行ったことがある市民の割合	30 %	21.0 %	18.9 %	15.7 %	
		◆交通安全市民団体の会員数	300 人	211 人	251 人	242 人	
4－3－3 交通安全環境の整備	●交通安全環境が良好に整備され、事故が起きにくい道路になっています。	◆交通安全環境が改善された箇所数（信号、横断歩道、カーブミラー等）	15 箇所	14 箇所	14 箇所	11 箇所	
		◆事故多発の危険箇所数	1 箇所	3 箇所	1 箇所	0 箇所	
4－3－4 高齢者の交通事故対策の推進	●高齢者が事故を起こさず、事故に遭わないようになっています。	◆運転免許証の自主返納者数	280 人	46 人	181 人	174 人	
		◆高齢者の死傷者数	50 人	73 人	59 人	37 人	

施策４－４　防犯対策の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・犯罪が起きにくい環境が整備されています。

主 管 課	市民活動課
関 係 課	－
目標値の考え方	成果指標は高水準にあるので、引き続き警察や地域との連携のもと、犯罪認知件数の減少に努め、安心して住むことのできるまちをめざします。

成果指標①

施策の成果指標	人口千人当たりの犯罪認知件数

（単位：件）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
13.5	5.5	5.4	4.0	3.7	4.1	4.4	5.5

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 4.4 件は基準値から 9.1 件減少し、目標値を達成しました。これは、防犯啓発活動を実施し、防犯意識の向上に努めたことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	治安がよく、安心して住めると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
78.8	81.2	82.6	－	87.5	－	87.5	82.0

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 87.5%は基準値から 8.7 ポイント増加し、目標値を達成しました。これは、防犯啓発活動を実施し、防犯意識の向上に努めたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
4－4－1 防犯意識の高揚	●犯罪に遭わないように、自衛や未然防止の意識が高まっています。	◆防犯対策の平均実践項目数（全９項目中）	項目 4	項目 2.68	項目 2.61	項目 2.18	★
		◆防犯対策をしている子どもの割合	% 91	% 90.2	% 84.1	% 85.4	★
4－4－2 地域ぐるみでの防犯体制の充実	●地域住民と連携した防犯体制がととのっています。	◆防犯活動の延べ参加者数	人 9,500	人 5,684	人 9,500	人 5,426	★
		◆かけこみ１１０番の家※の数	件 850	件 824	件 753	件 765	★
4－4－3 青少年の非行防止対策の推進	●地域一体となった青少年非行防止対策が推進され、補導件数や迷惑行為が少なくなっています。	◆青少年犯罪（触法）件数	件 23	件 30	件 18	件 10	▲
		◆青少年迷惑行為件数	件 230	件 270	件 262	件 121	▲
4－4－4 防犯施設の整備充実	●防犯施設が整備されています。	◆防犯灯・道路照明灯・街路灯・防犯カメラを新たに設置した基数（累計）	基 7,200	基 6,532	基 6,957	基 7,594	★
		◆交番・警察署の充足度	% 55	% 51.5	% 53	% 63.7	★

用語解説

※かけこみ 110 番の家／子ども等の弱者が犯罪の被害に遭いそうになったときに助けを求める緊急避難場所のこと。

施策４－５　消費者・生活者の安心の確保

施策がめざす尾張旭市の姿	・消費者トラブル等に遭わず、安心して生活ができています。

主 管 課	市民活動課
関 係 課	暮らし政策課
目標値の考え方	成果指標は高い水準にありますが、引き続き不安のないまちづくりを進めるため、積極的に施策を展開します。

成果指標①

施策の成果指標	この１年間に消費者トラブルに遭った市民の割合

（単位：％）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
1.5	2.2	1.9	－	3.0	－	3.0	1

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 3.0%は基準値から 1.5 ポイント増加し、目標値を下回りました。これは、消費生活に関するトラブルの内容が複雑化しており、手口も巧妙かつ悪質になってきていることや、スマートフォンの普及によりインターネットによるトラブルが増加したことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
4－5－1 賢い消費者の育成	●消費生活に関する知識を身につけ、被害の未然防止や被害の軽減が図られています。	◆消費生活啓発事業の参加者数	人 800	人 2,167	人 750	人 618	
4－5－2 消費生活相談の充実	●被害が未然に防止され、被害に遭った場合には、解決への方法を知ることができ、保護されています。	◆消費生活相談対応率 （消費生活相談件数）	% 100	% 100	% 100	% 100	
			件 （200）	件 （172）	件 （192）	件 （245）	
4－5－3 専門的な市民相談窓口の充実	●気軽に相談できる窓口を設置することにより、市民が安心して日常生活を送ることができています。	◆市民相談対応率	% 95	% 94	% 89.7	% 96	
4－5－4 相談窓口の周知	●消費生活トラブルや様々なトラブルについての相談先が周知されています。	◆消費生活相談と市民相談の窓口を知っている市民の割合	% 70	% 66.3	% 54.8	% 47.2	

施策５－１　資源循環型社会の形成

施策がめざす尾鷲市の姿	・市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

主 管 課	環境課
関 係 課	環境事業センター
目標値の考え方	ごみの量は年々減少傾向にありますが、ごみ問題は重要な課題の一つであるため、引き続き施策を展開し、ごみ排出量の減少をめざします。

成果指標①

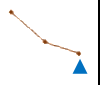
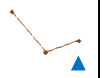
施策の成果指標	ごみ総排出量

（単位：ｔ）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
27,492	24,805	25,957	25,568	25,571	24,802	23,939	23,500

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 23,939 t は基準値から 3,553t 減少しましたが、目標値を下回りました。家庭系・事業系ごみのいずれも減少しており、ごみ減量に対する市民・事業者の意識が向上したことが成果向上の要因であると考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
5－1－1 発生抑制の推進	●ごみの発生抑制（リデュース※）が推進されています。	◆市民一人一日あたりのごみ総量	g 777	g 921	g 820	g 784	
		◆発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	% 94	% 91.9	% 93.2	% 93.7	
5－1－2 資源化の推進	●資源化（リサイクル）が推進されています。	◆資源化率	% 32	% 30.0	% 27.5	% 23.9	
		◆燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	% 23.1	% 30.5	% 23.6	% 25.6	
5－1－3 再使用の推進	●再使用（リユース※）が推進されています。	◆リサイクル広場におけるリユース件数	件 400	件 129	件 568	件 207	
		◆再使用している市民の割合	% 42	% 38.3	% 40.2	% 40.5	
5－1－4 ごみ収集処理体制の整備	●市民・事業者が正しくごみを排出し、きちんと収集されています。 ●ごみ収集・処理の体制が整備されています。	◆ごみ残置シール貼付数	枚 2,800	枚 4,662	枚 2,895	枚 3,998	
		◆ごみ収集に関する不具合・事故件数	件 9	件 15	件 10	件 1	

用語解説

※リデュース／発生抑制のこと。環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率的・必要以上の消費・生産を抑制あるいは行わないこと。

※リユース／再使用のこと。使用された製品を、そのまま又は製品の一部をそのまま再使用すること。

施策５－２　地球にやさしい生活の推進

施策がめざす尾鈴市の姿	・市民・事業者・行政それぞれが、地球環境にやさしい生活・活動を行っています。

主 管 課	環境課
関 係 課	学校教育課
目標値の考え方	地球温暖化など地球規模の環境問題に対し、市民の意識が高まっていることを受け、引き続き環境に配慮した地球にやさしい生活スタイルへの転換をめざします。

成果指標

施策の成果指標	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数（全２０項目中）

（単位：項目）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
7.2	7.9	8.95	－	8.08	－	8.3	9

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 8.3 項目は基準値から 1.1 項目増加しましたが、目標値を下回りました。これは、省エネに対する意識が向上し、使わない冷暖房や照明を消す、冷暖房を過度な温度設定にしないなど、エネルギー使用量に係る項目のポイントが増加したことが成果向上の要因と考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
5－2－1 環境保全のための教育・学習・実践	●市民が、環境に関する正しい知識・認識を身につけています。	◆環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	91%	90.7%	87.9%	90.6%	
		◆環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民の割合	30%	12.4%	29.2%	22.2%	
5－2－2 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進	●省エネルギー、再生可能エネルギー設備を活用する市民が増加しています。	◆省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	65%	19.0%	58.1%	47.8%	
		◆再生可能エネルギーを活用している公共施設数	15件	6件	15件	16件	
5－2－3 総合的な環境行政の推進	●行政として、環境に対する具体的な取り組み姿勢を示し、積極的に環境保全に努めています。	◆市の施設における温室効果ガス※排出量	tCO_2 4,928	tCO_2 －	tCO_2 5,235	tCO_2 5,277	

用語解説

※温室効果ガス／地球温暖化の主な原因となっているガスのこと。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスがある。

施策５－３　身近な緑・水辺環境の保全と創出

施策がめざす尾張旭市の姿	・緑、河川、ため池が保全され、憩いの空間が創出されています。

主 管 課	公園農政課
関 係 課	環境課
目標値の考え方	市民との協働により、引き続き自然環境の保全と創出を進めます。

成果指標①

施策の成果指標	緑地面積

（単位：ｈａ）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
517	517	519	518	518	518	517	519

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 517ha は基準値と同数値ですが、目標値を下回りました。都市公園の面積は増加しましたが、生産緑地地区の解除及び六田池地内公共広場等の廃止があったことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	緑・水辺に親しめる場所があると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
87.3	84.9	87.2	－	89.7	－	94.5	90

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 94.5%は基準値から 7.2 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、全国植樹祭の開催や城山公園（スカイパーク）が整備されたことにより、市民の緑に親しむ機会が増えたことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
5－3－1 緑・水辺の保全	●緑や水辺が保全されています。	◆公共緑地面積	ha 503	ha 499.3	ha 501.1	ha 501.9	
		◆民有緑地面積	ha 16	ha 17.4	ha 16.3	ha 14.8	
		◆ＢＯＤ※の主要河川での改善数値	mg/ℓ 8 以下	mg/ℓ 6.4	mg/ℓ 8.6	mg/ℓ 6.0	
		◆水質を維持しているため池数	箇所 7	箇所 4	箇所 4	箇所 4	
5－3－2 緑の創出と育成	●緑化の推進により、身の回りの緑が増えています。	◆新たに生み出された緑の箇所数	箇所 10	箇所 10	箇所 6	箇所 2	
		◆自ら緑を育成している市民の割合	% 60	% 52.0	% 49.1	% 45.1	
5－3－3 緑・水辺とふれあえる場づくり	●自然・動植物・水辺に親しむことができています。	◆水辺空間を利用している市民の割合	% 60	% 54.7	% 50.7	% 45.8	
		◆水辺空間の満足度	% 88	% 84.3	% 82.5	% 87.4	
5－3－4 市民参加による緑・水辺環境の保全	●市民参加により緑、河川、ため池を保全する運動が推進されています。	◆環境保全活動等に参加している市民団体数	団体 30	団体 26	団体 24	団体 20	
		◆環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	% 7	% 4.4	% 3.9	% 1.9	

用語解説

※ＢＯＤ／Biochemical Oxygen Demandの略。生物化学的酸素要求量。水質汚濁の指標の一つであり、水の汚れ（有機物）が、微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のこと。

施策５－４　生活衛生環境の向上

施策がめざす尾島町の姿	・快適で衛生的な生活を営むことができています。

主 管 課	環境課
関 係 課	環境事業センター
目標値の考え方	個人の意識や社会環境などに影響されやすい施策ですが、引き続き市民や事業者との連携を図りながら、より快適な生活衛生環境をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
69.5	68.2	75.8	－	79.1	－	79.1	72

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 79.1%は基準値から 9.6 ポイント増加し、目標値を達成しました。これは、草刈り機の買い替えを行ったことにより、生活衛生環境向上のための取組を高く評価する市民が増えていることが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	生活衛生環境に関する事故件数

（単位：件）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
0	0	0	0	0	0	0	0

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 0 件は基準値と同数値であり、目標値を達成しました。これは、事故防止のための啓発・活動の効果が継続されていることにより事故 0 件が維持されたと考えています。	

成果指標③

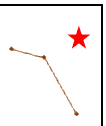
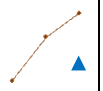
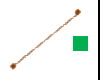
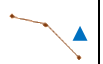
施策の成果指標	生活衛生環境に関する苦情の解決率

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
96.6	98.8	98.7	98.3	98.6	98.4	97	98

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 97%は基準値から 0.4 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。これは、有害鳥獣が増加したことに対して、駆除が追い付かなかったため、解決率が低下したことが原因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
5－4－1 地域住民による生活衛生環境の保全	●地域住民の手で生活衛生環境が保全されています。	◆生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	60 %	59.5 %	54.4 %	21.0 %	
		◆ペット・小動物に関する苦情件数	25 件	22 件	31 件	36 件	
5－4－2 生活衛生環境の向上支援	●市民が、生活衛生環境を保つための支援が受けられています。	◆生活衛生環境の向上支援件数	1,600 件	1,599 件	1,329 件	1,536 件	
5－4－3 公害の防止	●公害が防止されています。	◆公害に関する苦情件数	60 件	59 件	87 件	70 件	
5－4－4 墓園の管理	●墓園が適切に維持管理され、利用できるようになっています。	◆区画墓地利用率	90 %	85 %	88 %	86 %	
		◆合葬式墓地の利用許可数	750 件	― 件	0 件	1,060 件	
		◆墓園維持管理に関する苦情件数	20 件	22 件	23 件	24 件	
5－4－5 し尿処理施設の管理	●し尿処理を安定して行うことができるよう、施設が効率的に管理されています。	◆施設維持管理に関する障害件数	0 件	0 件	0 件	0 件	
		◆し尿等の搬入量	15 千kℓ	17 千kℓ	16 千kℓ	12 千kℓ	

施策６－１　商業の振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・地域商業が発展し、活性化しています。

主 管 課	産業課
関 係 課	－
目標値の考え方	商業の活性化は元気なまちづくりに寄与するため、引き続き商工会等と連携を図りながら、施策を展開します。

成果指標①

施策の成果指標	市内商店の年間商品販売額

（単位：億円）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
999	1,484	1,484	1,484	1,484	1,155	1,155	－

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 1,155 億円は基準値から 156 億円増加しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、消費が大きく落ち込む中でも、消費活性化を図るための各種事業を実施したことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	市内商業が活性化していると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
20.1	26.6	29.9	－	33.7	－	33.7	35

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 33.7%は基準値から 13.6 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響や近隣市に大型商業施設が立地する中でも、店舗等応援情報誌等で市内店舗等を目に見えるかたちで周知したことで増加傾向にありましたが、目標達成には至りませんでした。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
6－1－1 地域商業の活性化	●商店の魅力向上や市民の市内購買力向上により、市内で買い物をする人が増加しています。	◆市内商店数	430店	414店	424店 （H28）	434店	
		◆日常生活に必要な商品（食料品、日用品、電化製品、飲食店）を市内で買う市民の割合	38%	33.5%	23.4%	26.7%	
6－1－2 事業者への支援	●経営支援により、市内事業者の経営力が向上しています。	◆各種制度活用による経営力向上に取り組んだ商店数	150件	154件	107件	65件	

施策６－２　工業の振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・地域工業が振興し、活性化しています。

主 管 課	産業課
関 係 課	－
目標値の考え方	景気や社会情勢、地勢などに影響されやすく、事業者の経営姿勢によるところが大きいですが、地域工業の活性化に寄与するために施策を展開します。

成果指標

施策の成果指標	市内工業事業所の製造品出荷額

（単位：億円）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
1,945	1,305	1,206	1,216	1,200	1,577	1,577	－

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 1,577 億円は基準値から 368 億円減少しました。東日本大震災や新型コロナウイルス感染症等の外的要因により基準値を下回る数値で推移しているものの、直近の実績は経済活動の正常化などの影響により増加傾向にあります。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
6－2－1 地域工業の活性化	●市内大規模工場が安定的に事業運営をしています。	◆市内の大規模特定工場※（敷地面積９，０００㎡又は建築面積３，０００㎡以上）の数	10 社	9 社	9 社	9 社	
6－2－2 事業者への支援	●新規創業や継続操業のための支援等を活用し、事業の継続、規模の拡大がされています。	◆市内事業者の数	100 社	99 社	92 社	88 社	
		◆事業者支援メニュー数	5 事業	― 事業	5 事業	5 事業	
		◆事業者の業績伸長率	―	97.0 %	100.5 %	131.4 %	

用語解説

※大規模特定工場／工場立地法の規定により、工場の新設、増設などを行う場合に、事前の届出等が必要な工場のこと。

施策６－３　農業の振興

施策がめざす尾張旭市の姿	・大都市近郊の立地という特性を活かした農業が振興しています。

主 管 課	公園農政課
関 係 課	－
目標値の考え方	農業は、行政の支援が求められる分野であるため、農業の振興に向け、引き続き大都市近郊の立地を活かした農業施策を展開します。

成果指標①

施策の成果指標	農地の利用集積面積

（単位：ｈａ）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
37.7	50.4	51.6	52.0	51.5	50.8	50.9	66.0

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 50.9ha は基準値から 13.2ha 増加しましたが、目標値を下回りました。これは、担い手の担当地区を決めたことで、自ら耕作ができない人や農家の後を継ぐ人がいない世帯が担い手に農地を任せるところが増えたことが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	地域特産品の出荷量

（単位：ｔ）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
16.4	11.2	12.1	10.2	9.9	9.2	10.9	20

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 10.9ｔは基準値から 5.5ｔ減少し、目標値を下回りました。これは、新規就農者における出荷量は増加している一方で、既存農家の出荷量が減少していることが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
6−3−1 農地の保全	●農地が保全されています。	◆農業振興地域における農地面積	92 ha	110 ha	107 ha	105.9 ha	
		◆農地保全が必要と思う市民の割合	80 %	80.4 %	76.2 %	77.5 %	
		◆耕作放棄地の面積	2.3 ha	3.9 ha	3.4 ha	3.3 ha	
6−3−2 農業基盤の充実	●持続的な農業経営のために、農業の担い手の育成や農業用水路等の生産基盤が計画的に更新されています。	◆認定農業者数	4 人	4 人	4 人	4 人	
		◆用水路の改修率	35 %	0 %	18.9 %	23.7 %	
6−3−3 都市型農業※の推進	●特産品が認知され、地産地消による食育が推進されています。 ●生産者との交流を通して、農業を身近に感じる市民が増えています。	◆地域特産品の数	3 品	2 品	2 品	2 品	
		◆消費者の特産品の認知度	80 %	72 %	77 %	74.2 %	
		◆地産地消を心掛けている人の割合	70 %	60 %	62 %	68.8 %	
		◆農業体験をしたことがある市民の割合	35 %	31.8 %	26.3 %	18.2 %	

用語解説

※都市型農業／食糧供給能力だけではなく、都市に求められる緑の供給機能、都市空間機能、環境保全機能、防災機能などの諸機能を果たす農業のこと。

施策６－４　勤労者支援・就労支援の充実

施策がめざす尾張旭市の姿	・勤労者への福利厚生と研さんの場が提供されています。 ・失業者の就労支援ができています。

主 管 課	産業課
関 係 課	－
目標値の考え方	社会環境に左右されることの多い分野ですが、ニーズに応じた福利厚生や研さん機会の提供により、引き続き勤労者支援に取り組みます。

成果指標①

施策の成果指標	勤労者の市福利厚生サービス利用・自己研さん研修参加者数

（単位：人）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
1,485	941	716	469	－	－	－	1,000

分析結果	目標の達成状況
勤労福祉会館の用途変更及び尾張あさひ苑の市内在住の在勤者の利用助成の廃止に伴い、令和２年度をもって施策成果指標を廃止しました。	－

成果指標②

施策の成果指標	地域職業相談室を利用して就職した相談者（失業者）の割合

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
7	6.9	5.6	4.2	4.4	4.8	5.5	－

分析結果	目標の達成状況
令和５年度実績値 5.5%は基準値から 1.5 ポイント減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、回復傾向にはあるものの、基準値には及ばないため、地域相談室の更なる周知を図ることが必要であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
6－4－1 福利厚生の充実	●市内の在勤在住就業者に対する福利厚生のための施設やメニューが充実しています。	◆勤労者施設の利用者数	人 130,000	人 111,529	人 141,541	人 ―	―
		◆勤労者施設以外の福利厚生メニュー利用者数（在勤者の補助利用者数）	人 60	人 34	人 31	人 ―	―
6－4－2 自己研さん機会の提供	●市内の在勤在住就業者の自己研さんの機会が提供され、受けられます。	◆勤労者自己研さんメニュー応募率	倍 1.2	倍 0.9	倍 0.72	倍 ―	―
6－4－3 雇用・就業者対策の推進	●雇用･就業者のための相談体制が充実しています。	◆地域職業相談室（ふるさとハローワーク）があることを知っている市民の割合	% 43	% 38.0	% 41.6	% 43.4	
		◆地域職業相談室（ふるさとハローワーク）相談対応率	% 100	% 100	% 100	% 100	

施策７－１　市民によるまちづくり活動の推進と支援

施策がめざす尾張旭市の姿	・ふれあいや交流に満ちたまちになっています。

主 管 課	市民活動課
関 係 課	暮らし政策課
目標値の考え方	市民の力はまちづくりに必要不可欠です。施策を積極的に展開するなかで、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	地域活動に参加している市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
27.2	24.1	24.5	－	10.1	－	10.1	28

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 10.1%は基準値から 17.1 ポイント減少し、目標値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響により活動が自粛されていたことが要因であると考えています。	

成果指標②

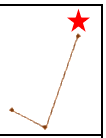
施策の成果指標	ボランティア活動・市民活動を行っている市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
15	11.9	12.7	－	5.4	－	15.3	19

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 15.3%は基準値から 0.3 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として自粛されていた活動が再開されましたが、ライフスタイルの変容により活動の回復には至らなかったことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
7−1−1 地域コミュニティの活性化	●地域での活動に参加する市民が増え、地域活動が活発に行われています。	◆自治会加入率	% 63	% 65.5	% 63	% 57.19	
		◆地域活動に対する行政支援に満足している市民の割合	% 78	% 73.0	% 71.3	% 79.7	
7−1−2 コミュニティ施設の整備と利用促進	●コミュニティ活動の拠点が整備され、活発に利用されています。	◆コミュニティ施設の充足度	% 80	% 70.6	% 68.9	% 77.9	
		◆コミュニティ施設の年間利用者数	人 900,000	人 826,700	人 915,036	人 860,731	
7−1−3 ボランティア・市民活動の活性化	●新たなコミュニティ活動として、多様なボランティアや市民活動団体が形成され、活動が活発に行われています。	◆ボランティア・市民活動の団体数	団体 160	団体 127	団体 137	団体 135	
		◆ボランティア・市民活動の活動人数	人 3,700	人 3,615	人 3,234	人 2,818	

施策７－２　にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上

施策がめざす尾張旭市の姿	・祭りやイベント、市民同士のふれあい、居住するなかで、わがまちに「愛着」を感じる市民が増えています。 ・祭りやイベント、まちの魅力を活用してにぎわい（交流人口）が創出されています。

主 管 課	産業課
関 係 課	多様性推進課
目標値の考え方	市民がわがまちに「愛着」を感じることは、まちの根幹をなす市民の意識であるため、にぎわいの創出に取り組み、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	わがまちに「愛着」を感じる市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
69.1	78.3	81.3	－	80.0	－	81.3	80

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 81.3%は基準値から 12.2 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、尾張旭まつり等のイベントの充実を図ったことが要因であると考えています。	

成果指標②

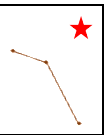
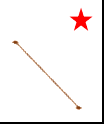
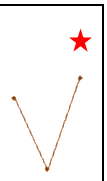
施策の成果指標	観光入込客数

（単位：人）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
1,169,300	1,142,241	1,196,926	1,122,836	1,099,081	1,155,016	1,185,045	1,250,000

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 1,185,045 人は基準値から 15,745 人増加しましたが、目標値を下回りました。観光施設及びイベントのＰＲ等により、参加人数が増加したことが成果向上の要因と考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
7−2−1 イベント等を通じたふれあいの推進	●各種イベントを通じて市民相互のふれあいが盛んになっています。	◆市民同士のふれあいの場・機会への参加の割合	% 55	% 45.3	% 43.4	% 33.3	
		◆観光・交流イベント等の参加者数	人 130,000	人 −	人 120,357	人 115,000	
7−2−2 交流人口増加へのＰＲの推進	●尾張旭市へ来訪してもらうためのＰＲが行えています。	◆マスコミへの掲載件数（観光・交流）	件 50	件 −	件 38	件 73	
		◆観光・交流資源数	点 11	点 −	点 10	点 11	
7−2−3 国際交流・地域間交流の推進	●国際交流・地域間交流が活発に行われ、外国や他地域との相互理解が深まっています。	◆外国人や国内他地域の人と相手の文化を尊重して接することができる市民の割合	% 75	% 70	% 65.3	% 71.3	

施策７－３　男女共同参画社会の形成

施策がめざす尾張旭市の姿	・男女共同参画社会が形成されています。

主 管 課	多様性推進課
関 係 課	－
目標値の考え方	社会情勢などに影響されやすい施策ですが、引き続き施策を展開するなかで、男女共同参画社会の形成をめざします。

成果指標

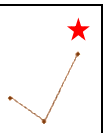
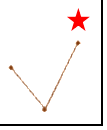
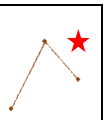
施策の成果指標	社会全体として男女の地位は平等になっていると思う市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
35.1	34.8	38.6	－	35.2	－	35.2	40

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 35.2%は基準値から 0.1 ポイント増加しましたが、目標値を下回りました。これは、コロナ禍により、女性の非正規労働者問題や育児不安等、ジェンダー不平等の実態が改めて明らかになったことから、社会全体として男女の地位が平等になっていると思う市民の割合が低下したことが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
7−3−1 男女共同参画意識の啓発と普及	●男女共同参画意識が定着しています。	◆家庭生活で男女の地位は平等になっていると思う市民の割合	55%	47.5%	46.6%	49.2%	
		◆地域活動で男女の地位は平等になっていると思う市民の割合	65%	60.2%	58.7%	61.1%	
7−3−2 男女共同参画に関わる行政の環境整備	●行政における推進体制が整備されています。	◆男女共同参画の趣旨を理解し、日常業務活動で実践している職員の割合	80%	69.9%	80.4%	74.5%	
		◆行政での女性委員等の割合	40%	36.9%	39.8%	44.0%	

施策８－１　開かれた市政の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・市政情報が提供され、市民が市政に参加（広聴）できる環境が整っています。

主 管 課	広報戦略課
関 係 課	人事課、総務課、企画課
目標値の考え方	市民が市政に参加できる環境を整え、引き続き本市の魅力や情報を積極的に発信することで、成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	情報の提供・公開が充実していると感じる市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
72.6	76.5	74.7	－	82.2	－	82.2	80

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 82.2%は基準値から 9.6 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、令和 3 年度に実施した広報誌のリニューアルに加え、ホームページやＬＩＮＥ等のＳＮＳを活用して積極的に情報発信をしたことが要因であると考えています。	

成果指標②

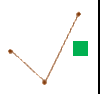
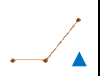
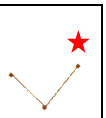
施策の成果指標	市政への参画、広聴の機会が充実していると感じる市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
75.8	80.7	78.6	－	84.0	－	84.0	80

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 84.0%は基準値から 8.2 ポイント向上し、目標値を達成しました。これは、市長の現場訪問機会の増加により、市民等との対話が増えていることが要因であると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期基準値	後期基準値	実績値R5	数値の推移
8－1－1 行政情報の提供	●積極的な行政情報の提供により、市民から市政に対する理解が得られています。	◆広報誌をはじめとした行政情報の提供に満足する市民の割合	90%	88.3%	89.1%	91.5%	
		◆ホームページなど、インターネットを活用した情報の提供に満足する市民の割合	60%	44.8%	57.6%	61.5%	
8－1－2 広聴機会の充実	●広聴の機会が充実し、市民の要望が的確に把握できています。	◆市長と市民との対話件数（市長の現場訪問、市長を囲む子ども会議）	20件	20件	15件	26件	
		◆市民からの意見数（ｅメール、意見箱、ＦＡＸ）	―	351件	235件	190件	
		◆附属機関※等における公募委員の割合	10%	8%	7.5%	6.4%	
8－1－3 情報公開と個人情報保護	●情報が適正に保護・公開され、透明性の高い市政運営が行われています。	◆公文書公開率	90%	84%	96.6%	98%	
		◆会議を公開している附属機関等の割合	90%	88%	87.5%	87.8%	
		◆個人情報事故・トラブル件数	0件	0件	0件	3件	
8－1－4 市の魅力の発信	●市の魅力が積極的に発信され、認知されています。	◆市の魅力が発信されていると感じる市民の割合	80%	72.8%	65.2%	74.7%	
		◆マスコミに対し情報発信し、新聞記事として掲載された件数	200件	―件	180件	201件	

用語解説

※附属機関／地方自治法の規定に基づき、法律又は条例の定めるところにより、調停、審査、諮問又は調査のため市が設置する機関のこと。

施策８－２　行財政運営の推進

施策がめざす尾張旭市の姿	・効率的で計画的な行財政運営が行われています。

主 管 課	企画課
関 係 課	財政課、収納課、情報政策課
目標値の考え方	限られた資源を有効に配分し、計画的な行財政運営を行うことは、これからのまちづくりに必要不可欠であることから、引き続き成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う市職員の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
88.8	79.2	79.9	85.4	81.6	82.9	82.4	92

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 82.4%は基準値から 6.4 ポイント減少し、目標値を下回りました。基準値設定時と比較して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が増加しており、多様化する行政課題への対応が計画的に推進できていないという課題意識をもった職員が多くいることが要因であると考えています。	

成果指標②

施策の成果指標	施策目標の達成率

（単位：%）

基準値	実績値（業務取得）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
46.8	33	25.0	18.5	32.3	21.5	31.1	80

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 31.1%は基準値から 15.7 ポイント減少し、目標値を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染症による影響をはじめ、様々な要因によって目標を達成できなかった指標が多く存在していることによるものです。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
8－2－1 効果的・効率的な行政運営	●効果的・効率的な行政運営が行われ、市民サービスが向上しています。	◆基本事業目標の達成率	80%	－%	44.2%	37.1%	★
		◆実施取組方針の事業見直しの達成割合（進展割合）	80%	64.8%	80.3%	80.7%	★
8－2－2 健全な財政運営	●適切な予算編成・執行がなされ、持続可能な財政運営がなされています。	◆経常収支比率	89.4%	91.6%	91.3%	88.1%	▲
		◆将来負担比率	15%	21.6%	0.3%	-17.4%	▲
		◆実質公債費比率	6.4%	6.2%	3.8%	3.6%	▲
		◆市税収納率	98.5%	95%	98.2%	98.7%	★
8－2－3 市民の財政理解の推進	●市民が市の財政状況を理解しています。	◆市の財政状況について知っている市民の割合	52%	37.4%	36.5%	28.6%	★
		◆税金の使い方に満足している市民の割合	67%	64.2%	68.9%	75.9%	★
8－2－4 広域行政の推進	●近隣市との連携により、効率的かつ利便性の高い市民サービスが提供されています。	◆広域で共同処理している事務・広域的に受けられるサービス件数	65件	47件	59件	60件	★
8－2－5 情報化の推進	●ＩＣＴ※を活用した市民サービスの向上と業務の効率化・迅速化が図られています。	◆ＩＣＴを活用した市民サービスが充実していると思う市民の割合	75%	71.0%	72.2%	78.1%	★
		◆主要情報システムの安定性（稼働率）	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	★
8－2－6 公共施設の効率的な配置	●公共施設が効率的に配置されています。	◆公共建築物の保有量（面積）	190,328㎡	－㎡	193,896㎡	194,177㎡	▲

用語解説

※ＩＣＴ／Information and Communication Technology の略。コンピュータやインターネットに関連する情報通信技術のこと。

施策８－３　組織・人事マネジメントの充実

施策がめざす尾張旭市の姿	・多様化・高度化する行政ニーズに対応できる職員・組織になっています。

主 管 課	人事課
関 係 課	企画課
目標値の考え方	より質の高いサービスを提供するため、引き続き組織の充実や職員の資質の向上に努め、さらなる成果の向上をめざします。

成果指標①

施策の成果指標	市職員の仕事ぶりに満足している市民の割合

（単位：%）

基準値	実績値（市民アンケート）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
85.1	84.7	85.7	－	87.6	－	87.6	90

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 87.6%は基準値から 2.5 ポイント向上しましたが、目標値を下回りました。市職員が市民への迅速・丁寧な対応に心がけたことによる成果であると考えていますが、目標達成には至りませんでした。	

成果指標②

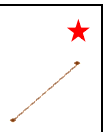
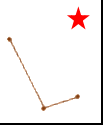
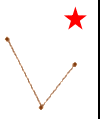
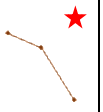
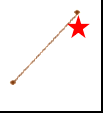
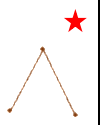
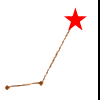
施策の成果指標	組織・職員が市民の抱える問題・行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員の割合

（単位：%）

基準値	実績値（課独自調査）						目標値
H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5
51.9	55.3	52.7	53.9	50.6	50.2	49.8	70

分析結果	目標の達成状況
令和 5 年度実績値 49.8%は基準値から 2.1 ポイント減少し、目標値を下回りました。行政へのニーズが多様化し、行政課題等が多くなってきていることが要因の一つであると考えています。	

□【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	基本事業成果指標 （基本事業の目的達成度を示す指標）	目標値	前期 基準値	後期 基準値	実績値 R5	数値の推移
8－3－1 組織力の向上	●組織間の連携が図られ、分野横断的な取り組みが進んでいます。	◆職場（課係）内の連携が図られていると思う職員割合	80 %	－ %	74 %	74.1 %	
		◆組織間連携（課同士、部同士等）が図られていると思う職員割合	80 %	67.5 %	54.1 %	56.3 %	
8－3－2 適正な人事管理	●定員の適正化が図られています。 ●適材適所の人材が確保・配置されています。 ●職員の能力が発揮できている人事制度になっています。	◆定員適正化計画の定員と職員数の差	0 人	2 人	△3 人	△5 人	
		◆適材適所の人材配置ができていると思う職員の割合	93 %	92.6 %	86.5 %	90.3 %	
		◆処遇に納得している職員の割合	91 %	90.4 %	89.9 %	88.2 %	
		◆能力を発揮している職員の割合	90 %	－ %	87.3 %	90.5 %	
8－3－3 人材の育成	●効果的な人材育成が実施され、職員の資質が向上しています。	◆研修、ＯＪＴ※、人事考課制度等により能力が向上したと思う職員の割合	85 %	81.1 %	82.9 %	81.0 %	
8－3－4 安全衛生の確保	●安全衛生に適切に対処し、職員が健康で安心して働くことができています。	◆安全衛生に適切に対処し、職員が健康で安心して働くことができていると思う職員の割合	87 %	83.9 %	84.1 %	87.0 %	

用語解説

※ＯＪＴ／On－the－Job Training の略。職場内において、管理監督者の責任のもとで行われる教育訓練全般のこと。

3　計画人口実現のためのチャレンジ

第五次総合計画では、税収を確保し安定した行財政運営を進めていくには、計画人口で示した人口の増加、とりわけ生産年齢人口の増加に向けた取組が大変重要であるとのことから、本市において人口を増加させるために特に効果的である５つの分野を「５つのチャレンジ」として位置付け、計画人口の実現に向けて取り組んできました。

⑴　５つのチャレンジの取組状況のまとめ

チャレンジ ①　いつまでも元気に暮らせるまちをめざします

- 市民総元気まる事業のリニューアルを図るなど、たくさんの方が健康づくりに取り組む機会の増加や健康増進に関する意識を高める取組を進めました。
- 高齢化が進むなかで、介護予防事業や筋力トレーニング事業などの健康づくり事業を推進し、心身ともに元気な生活を送るための取組を進めました。

チャレンジ ②　働きながら子育てしやすいまちをめざします

- 保育時間の拡充や保育定員の拡大、放課後児童・学童クラブの拡充など、多様化するニーズに応じた子育て支援策の充実を図る取組を進めました。
- 老朽化した保育園施設の改修・改築のほか、空調設備の更新やトイレの洋式化など、保育環境の整備を進めました。

チャレンジ ③　次代を担う子どもたちが育まれるまちをめざします

- 確かな学力の育成を図るとともに、情報教育やキャリア教育の推進、創意工夫をいかした特色ある学校づくりを進めるなど、次代を担う子どもたちを育む取組を進めました。
- 小中学校の大規模改修、空調設備の設置、トイレの洋式化などの施設整備のほか、ＩＣＴ化への対応を推進するなど、教育環境の整備を進めました。

チャレンジ ④　住みやすく出かけやすいまちをめざします

- 土地区画整理事業や三郷駅まちづくり周辺整備事業による都市基盤整備の推進により、住環境の向上を図りました。
- 市営バスあさぴー号の充実や駅のバリアフリー化などにより、誰もが移動しやすい環境の整備を進めました。

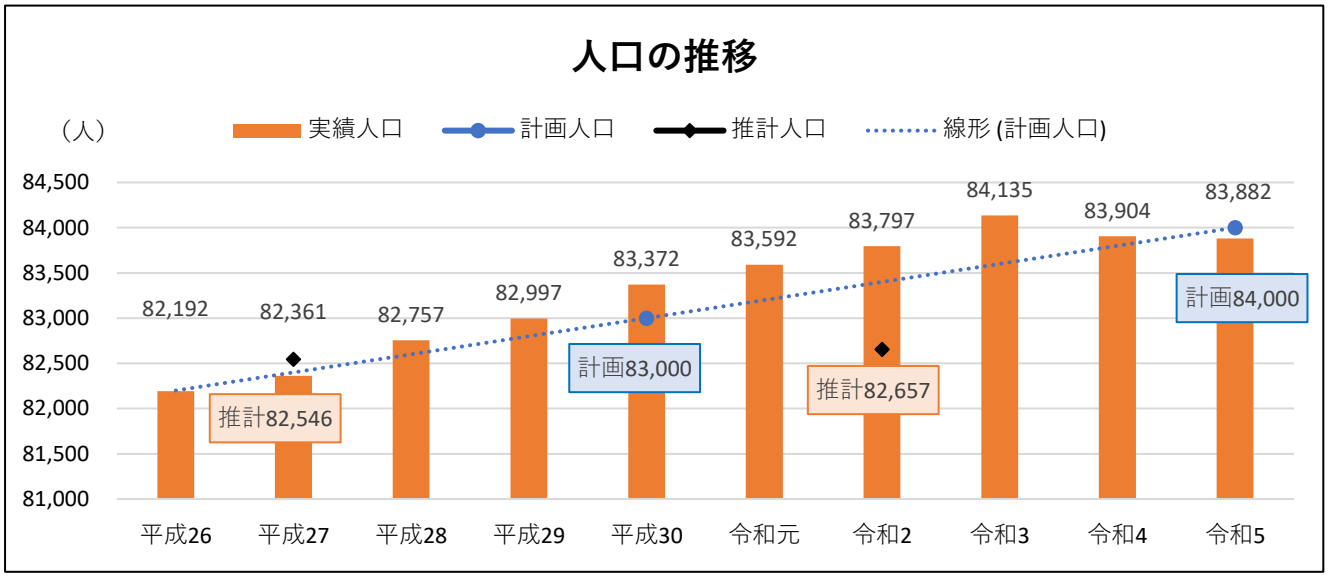
チャレンジ ⑤　衛生的で快適なまちをめざします

- 計画的な下水道整備を推進することにより、衛生的で快適な生活環境の整備を進めました。
- 上水道施設や橋りょうの耐震化のほか、施設の老朽化対応について、市民ニーズや社会情勢の変化に対応した施設の効率的な管理運営を進めました。

⑵　人口の推移

図⑤は、第五次総合計画期間における人口の推移について、グラフで表したものです。日本の人口は平成２３年以後減少が続いていますが、本市では様々な取組により、令和３年度まで安定的な人口増加が続き、令和３年度時点で令和５年度の計画人口８４，０００人を上回りました。その後、人口は横ばいで推移していますが、今後は少子超高齢化や人口減少が大きな課題になると考えられます。

図⑤　計画期間中の人口の推移

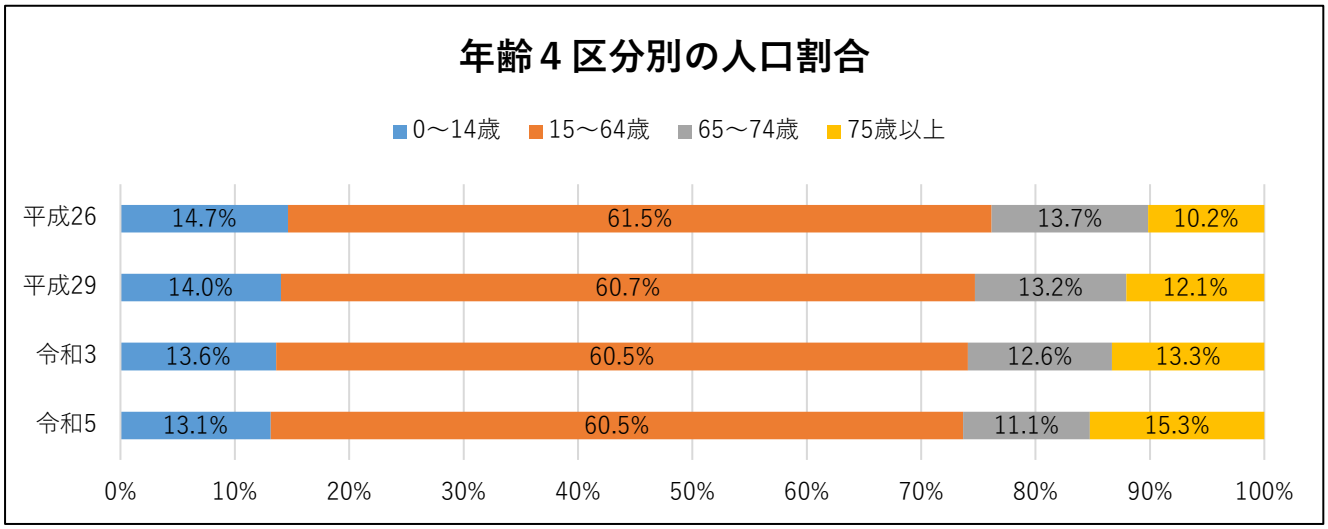


資料：市民課、企画課

⑶　年齢区分による人口構成

図⑥は、第五次総合計画期間における年齢４区分による人口構成の割合について、グラフで表したものです。少子超高齢化が進むなかにおいても、生産年齢人口（１５歳～６４歳）は横ばいで推移しました。

図⑥　計画期間中の年齢４区分による人口構成

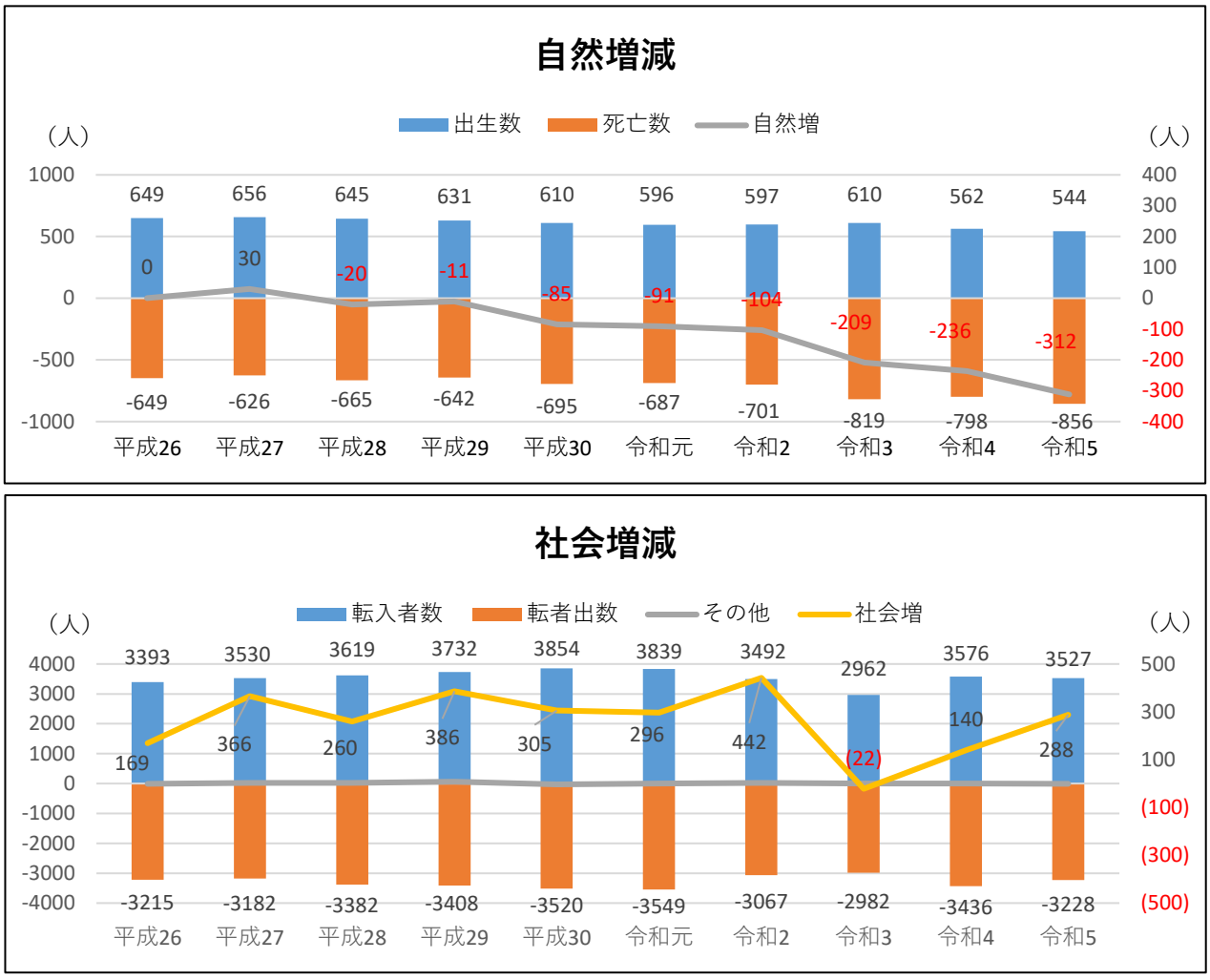


資料：市民課

⑷　人口動態の推移

図⑦は、第五次総合計画期間における人口動態について、グラフで表したものです。自然増減では死亡数が出生数を上回り、自然減の一方で、社会増減では転入者数が転出者数を上回り、社会増の傾向が続きました。

図⑦　計画期間中の人口の動態



資料：市民課

本市では、先人から引き継いだ緑豊かな地勢、名古屋へのアクセス利便性などをいかした良好な住環境を基盤として発展してきたことに加え、第五次総合計画で掲げた計画人口実現のための「５つのチャレンジ」の各取組を着実に進めてきたことにより、計画人口の実現を達成することができました。

今後も国内全体の少子化や人口減少が進むなかにおいても、本市が将来にわたって良好な暮らしのまちを維持していく上で、人口減少の速度を遅らせていくことが、最も重要と言えます。

尾張旭市役所企画部企画課
〒４８８－８６６６
愛知県尾張旭市東大道町原田２６００番地１
電　話　０５６１－７６－８１０８（直通）
　　０５６１－５３－２１１１（代表）
内　線　２２７
ＵＲＬ　https://www.city.owariasahi.lg.jp/